SMART Board®
MX | MX Pro
シリーズインタラクティブディスプレイ

ユーザーガイド

SMART Board MX (V4)シリーズ | SMART Board MX Pro (V4)シリーズ
SMART Board MX (V3)シリーズ | SMART Board MX Pro (V3)シリーズ
SMART Board MX (V2-C) シリーズ | SMART Board MX Pro (V2-C)シリーズ
SMART Board MX (V2)シリーズ | SMART Board MX Pro (V2)シリーズ
SMART Board MXシリーズ
(特定のモデルについては、12 ページを参照してください。

IDX55-4 | IDX65-4 | IDX75-4 | IDX86-4 | IDX55-3 | IDX65-3 | IDX75-3 | IDX86-3 | IDX55-2 | IDX65-2 | IDX75-2 | IDX86-2 | IDX65-1 | IDX75-1 | IDX86-1

この文書は参考になりましたか?
smarttech.com/docfeedback/171554

詳細

このガイド、およびSMART Board MX および MX Proシリーズインタラクティブディスプレイ向けのリソースは、SMART ウェブサイトのサポートセクション (smarttech.com/support) からご利用いただけます。お使いのモバイルデバイスでこのQR コードを読み取ると、リソースにアクセスできます。

ENERGY STARは政府が支援するエネルギー効率のシンボルであり、消費者や企業が十分な情報に基づいた意思決定を行うために頼りにできるシンプルで信頼性の高い公平な情報を提供します。ENERGY STAR認定製品はエネルギー効率のためのシンプルな選択肢であり、消費者と企業はコストを削減し、環境を保護しながら簡単に購入を行う事ができます。米国環境保護庁(EPA)は、そのラベルを取得した各製品が、ユーザーが期待する品質や、性能、そしてコスト削減を提供する事を個別に認定されている事を保証します。

ディスプレイは出荷された状態でENERGY STAR のパフォーマンスとコスト削減を実現します。ですが、一部の設定を変更するとENERGY STAR認証に求められる制限を超えてエネルギー消費量が増加する可能性があります。例えば、明るさとコントラストを上げると消費電力が増加します。

ENERGY STAR以外の設定を選択する際は環境を考慮してください。

使用許諾契約

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI trade dress、およびHDMIロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

商標表示

SMART Board、SMART Notebook、SMART TeamWorks、SMART Meeting Pro、SMART Ink、SMART lab、Lumio、Object Awareness、smarttech、SMARTロゴ、およびすべてのSMARTタグラインは、米国および/またはその他の国におけるSMART Technologies ULCの商標または登録商標です。Android、Chrome、Chromebook、Google Cast、Google Drive、Google Play は Google Inc. の商標であり、Microsoft、Windows、OneDrive は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。Mac、macOS、iOS、およびAirPlayは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。Intel、Pentium、およびCoreは、Intel Corporationの米国やその他の国における商標です。その他すべてのサードパーティ製製品および会社名は、それぞれの所有者の商標である可能性があります。

著作権表示

© 2019年 –2023 SMART Technologies ULC。無断複写・転載を禁じます。SMART Technologies ULCの事前の書面による許可なく本書の一部または全部を複製、転載、頒布、ならびに形式、方法を問わず他言語へ翻訳することは禁止されています。本マニュアルの情報は予告なく変更される場合があり、SMARTのコミットメントを示すものではありません。

ここに記載された本製品やその使用方法は、以下の米国の特許によって保護されています。

www.smarttech.com/patents

2023年3月30日

注意事項

注記

ディスプレイの設置とメンテナンスに関する重要な情報については、*SMART Board MX および MX Pro シリーズインタラクティブディスプレイの設置およびメンテナンスガイド* (smarttech.com/kb/171555) を参照してください。

警告

- ディスプレイを開けたり分解しないで下さい。筐体内の高電圧で感電する危険性があります。また、筐体を開けた場合には、保証は適用されません。
- ディスプレイの画面にタッチするために椅子に乗らないでください。(特にお子様には) ご注意ください。
- 火事や感電の恐れがありますので、ディスプレイは雨にさらしたり湿気のあるところに置かないでください。
- 危険な電圧部分に触れる可能性があり、保証の対象ではない恐れのある電気ショック、火災や製品損傷の原因となるので、キャビネットの換気口内に物を入れないでください。
- 電源ケーブルの上に重い物を置かないでください。ケーブルが損傷すると、衝撃、火災、または製品の損傷を引き起こす可能性がありますが、保証の対象外です。
- ガラスが破損している場合は、液晶に触れないでください。怪我を防ぐために、廃棄の際にはガラスの破片を慎重に取扱います。
- ディスプレイのすべての電源ケーブルをコンセントから外し、次のいずれかが発生した場合、資格のあるサービス担当者からの支援を求めます。
  - 電源ケーブルまたは電源プラグが破損している
  - ディスプレイに液体をこぼした
  - ディスプレイに物を落とした
  - ディスプレイの落下
  - ひび割れなどの、構造上の損傷の発生
  - 取扱説明書厳守時のディスプレイの予期せぬ動作
- ディスプレイにOPSを挿入したり取り外したいりする前に、ディスプレイ背面にあるスイッチを使用してディスプレイの電源を切ってください。詳細については Open Pluggable Slot computer(OPS)の免責事項を参照してください。

目次

注意事項 3

第 1 章 ようこそ 6

本ガイドについて 6
ディスプレイの機能とコンポーネントについて 7
モデルの見分け方 12
アクセサリ 12
詳細情報 13

第 2 章 基本機能の使用 14

ディスプレイのスリープ解除とスリープ設定 14
ホームボタンの使用 15
フロントコントロールパネルの使用 15
リモコンの使用 16
タッチ機能の使用 19
書き込み、描画、および消去 21
音量の調節 22
画面の一時停止または非表示 23
ディスプレイでのスマート IDカードの使用 23
マイクロホンアレイの使用 27

第 3 章 iQアプリの使用 29

ホーム画面の使用 29
アプリライブラリの使用方法 29
ファイルライブラリの使用方法 29
SMART ホワイトボードの使用 30
ブラウザの使用 30
画面の共有 (Screen Share) の使用方法 30
画面キャプチャの使用 30
サードパーティ製アプリのインストール 31
ディスプレイのクリーンアップ 31

第 4 章 コンピュータおよび他のデバイスの接続 32

SMARTソフトウェアのインストールと使用 32
ルームコンピュータとゲストのノートパソコンの接続 35
SMART OPS PCモジュールの接続 43
USB ドライブ、周辺機器、その他のデバイスの接続 43

第 5 章 トラブルシューティング 46

ディスプレイの電源が入っていません 46
画面に何も表示されていないか、画面上の画像に問題があります 47
音声が出ない、または音声に問題がある 50

タッチが正常に動作していません 51
ペンと消しゴムが正常に動作していません 51
NFC サインインが期待どおりに機能しない 52
iQアプリが正常に動作していません 52
接続されたコンピュータのSMARTソフトウェアが正常に動作していません 53
SMART OPS PCモジュールが思い通りに作動しない 53
Intel Compute Cardが正常に動作していない 53
最低限必要な SMART 製品ドライバーのバージョン 53
その他のサポート、販売店へのお問い合わせ 54

証明書およびコンプライアンス 55

第 1 章 ようこそ

本ガイドについて 6
ディスプレイの機能とコンポーネントについて 7
タッチ 8
書き込み、描画、および消去 8
iQ 8
ディスプレイ 8
オーディオ 9
NFCサインイン 9
マイクアレイ 9
ネットワーク接続 9
教室のコンピューターとゲストのノートパソコン 10
アクセサリスロット 10
フロントコントロールパネル 11
前面コネクタパネル 11
周囲光センサー 11
電源ステータスライト 11
リモコンと赤外線センサー 11
モデルの見分け方 12
アクセサリ 12
SMART OPS PCモジュール 13
スタンド 13
USB延長ケーブル 13
詳細情報 13

SMART Board® MXまたはMX Proシリーズのインタラクティブディスプレイは、教室や会議室のハブです。

本ガイドについて

本ガイドでは、SMART Board MX または MX Proシリーズのインタラクティブディスプレイの使用方法についてご説明致します。

このガイドは、本ディスプレイの使用者向けに作成されています。ディスプレイのインストールとメンテナンスを行うための、その他のドキュメントやリソースを利用できます(13 ページ *詳細情報* を参照)。

注記

このガイドでは、次のシリーズについて説明します。

- V4 SMART Board MX (V4)シリーズ
- V3 SMART Board MX (V3) シリーズ
- V2-C SMART Board MX (V2-C) シリーズ
- V2 SMART Board MX (V2) series
- MX SMART Board MXシリーズ
- V4 Pro SMART Board MX Pro (V4)シリーズ
- V3 Pro SMART Board MX Pro (V3)シリーズ
- V2-C Pro SMART Board MX Pro (V2-C)シリーズ
- V2 Pro SMART Board MX Pro (V2)シリーズ

特定のシリーズに適用される情報は、上記の記号でマークされています。

ディスプレイの機能とコンポーネントについて

このディスプレイには様々な機能と部品が含まれています:

タッチ

ディスプレイの表面にタッチすることにより–アプリケーションの開閉、他の人と会う、新規ドキュメントの作成または既存のものの編集、ウェブサイトの閲覧、ビデオの再生と操作等 –コンピューターで行えることはディスプレイですべて行うことができます。

アプリケーションでは縮小、拡大、回転、ズームイン、ズームアウトなどの様々なジェスチャを使用する事ができます。

詳細については、19 ページ*タッチ機能の使用* を参照してください。

書き込み、描画、および消去

このディスプレイには2つのペンが付属しており、画面に書き込む際に使用する事ができます。

画面上のデジタルインクを消去するには拳や手のひらを使用してください。

Object Awareness™機能を使用すると、ディスプレイがペンや、指、手のひらなどの使用しているツールまたはオブジェクトに自動的に反応します。このディスプレイの同時ツール識別技術によって、2人の人物が独立して同時に書き込む事ができます。

詳細については、21 ページ*書き込み、描画、および消去* を参照してください。

iQ

ディスプレイのiQエクスペリエンスにより、ホワイトボード、ワイヤレス画面共有、ウェブブラウザなどのコラボレーションツールにワンタッチでアクセスできます。最小限のネットワーク統合によって、ワイヤー、ケーブル、ソフトウェアやファームウェアの手動更新は不要になっています。

iQのホーム画面からは、iQアプリを開く、入力を切り替える、設定を調整することができます。

ホーム画面の詳細については、15 ページ*ホームボタンの使用* を参照してください。

iQアプリの詳細については、29 ページ*iQアプリの使用* を参照してください。

ディスプレイ

4K超高精細LCEディスプレイが鮮明な画像と広い視野角を実現します。

画面サイズはモデルにより異なります:

モデル	画面サイズ (対角)
SBID-MX255-V4、SBID-MX255-V4-PW、SBID-MX055-V4、SBID-MX055-V4-PW、SBID-MX255-V3N、SBID-MX255-V3、SBID-MX255-V3N-PW、SBID-MX255-V3-PW、SBID-MX055-V3N、SBID-MX055-V3、SBID-MX055-V3N-PW、SBID-MX055-V3-PW、SBID-MX255-V2-C、SBID-MX255-V2-CPW、SBID-MX255-V2、SBID-MX255-V2-PW、SBID-MX055-V2、SBID-MX055-V2-PW	55"

モデル	画面サイズ (対角)
SBID-MX265-V4、SBID-MX265-V4-PW、SBID-MX065-V4、SBID-MX065-V4-PW、SBID-MX265-V3N、SBID-MX265-V3、SBID-MX265-V3N-PW、SBID-MX265-V3-PW、SBID-MX065-V3N、SBID-MX065-V3、SBID-MX065-V3N-PW、SBID-MX065-V3-PW、SBID-MX265-V2-C、SBID-MX265-V2-CPW、SBID-MX265-V2、SBID-MX265-V2-PW、SBID-MX065-V2、SBID-MX065-V2-PW、SBID-MX365、SBID-MX265	65"
SBID-MX275-V4、SBID-MX275-V4-PW、SBID-MX075-V4、SBID-MX075-V4-PW、SBID-MX275-V3N、SBID-MX275-V3、SBID-MX275-V3N-PW、SBID-MX275-V3-PW、SBID-MX075-V3N、SBID-MX075-V3、SBID-MX075-V3N-PW、SBID-MX075-V3-PW、SBID-MX275-V2-C、SBID-MX275-V2-CPW、SBID-MX275-V2、SBID-MX275-V2-PW、SBID-MX075-V2、SBID-MX075-V2-PW、SBID-MX375、SBID-MX275	75"
SBID-MX286-V4、SBID-MX286-V4-PW、SBID-MX086-V4、SBID-MX086-V4-PW、SBID-MX286-V3N、SBID-MX286-V3、SBID-MX286-V3N-PW、SBID-MX286-V3-PW、SBID-MX086-V3N、SBID-MX086-V3、SBID-MX086-V3N-PW、SBID-MX086-V3-PW、SBID-MX286-V2-C、SBID-MX286-V2-CPW、SBID-MX286-V2、SBID-MX286-V2-PW、SBID-MX086-V2、SBID-MX086-V2-PW、SBID-MX386、SBID-MX286	86"

オーディオ

このディスプレイには二つのスピーカーが内蔵されており、部屋の前面で音声を提供するように設計されています。

NFCサインイン

V4 V4 Pro

SMART Board MX (V4)およびMX Pro (V4)シリーズモデルでは、近距離無線通信(NFC)を使用してSMART アカウントにサインインできます:SMART IDカードをディスプレイのフレームのカードリーダー領域にかざしてPINを入力するだけです。この機能により、ユーザー名やパスワードを入力することなく、サインインの時間を短縮することができます。

詳細については、23 ページ *ディスプレイでのスマート IDカードの使用* を参照してください。

マイクアレイ

V4 V4 Pro

SMART Board MX (V4)およびMX Pro (V4)モデルの内蔵マイクアレイを会議アプリで使用できます。マイクアレイの採用により、音の検出力を向上させました。また、接続したコンピュータのマイクの代わりに、ディスプレイの内蔵マイクアレイを使用することもできます。

詳細については、27 ページ *マイクロホンアレイの使用* を参照してください。

ネットワーク接続

このディスプレイには、ソフトウェアとファームウェアのアップデートをダウンロードするためのネットワーク接続が必要で、多くのiQアプリにもネットワーク接続が必要です。

Wi-Fiもしくはディスプレイ上のRJ45 LANジャックを用いてネットワークに接続する事ができます:

- Wi-Fiは2.4GHz帯と5GHz帯の両方をサポートしています。
- 2つのRJ45ジャックを使用すればディスプレイとコンピュータなどの外部デバイスをイーサネットのネットワークに接続する事ができます。

教室のコンピューターとゲストのノートパソコン

部屋のコンピュータおよびゲストのラップトップを接続し、それらの表示と操作を行うためにディスプレイを利用する事ができます。

このディスプレイには接続されたコンピュータにインストールできるSMARTソフトウェアが付属しており、接続されたコンピュータを使用しながらディスプレイの機能を最大限に活用できます。

詳細については、32 ページ*コンピュータおよび他のデバイスの接続* を参照してください。

アクセサリスロット

MX

以下のモデルでは、iQ機器は背面のアクセサリスロットに接続されています。

- SBID-MX365
- SBID-MX375
- SBID-MX386
- SBID-MX265
- SBID-MX275
- SBID-MX286

注記

SBID-MX365、SBID-MX375、SBID-MX386モデルでは、機器にIntel® Compute Cardを挿入することで、外部PCやケーブルを必要とせず、手元にWindows® 10ソリューションを完備することが可能です。

V4 V4 Pro V3 V3 Pro V2-C V2-C Pro V2 V2 Pro

それ以外の機種では、アクセサリースロットにSMART OPS PCモジュールなどのOPS対応機器を装着することができます。SMART OPS PCモジュールは、Windows10 Proの完全なインストールを提供します。

SMART OPS PCモジュールの詳細については、13 ページ*SMART OPS PCモジュール*を参照してください。

注意事項

アクセサリスロットの最大使用可能電力は、ディスプレイモデルによって異なります。

モデル	最大利用可能電力
V4 V4 Pro	100 W
V3 V3 Pro V2-C V2-C Pro V2 V2 Pro MX	60 W

スロットは限られた電源ではありません。火災の危険性を減らすために、スロットに接続する付属品がIEC 62368-1の防火エンクロージャ要件を満たすことを確認します。

フロントコントロールパネル

前面コントロールパネルにはディスプレイのオン/オフや、音量の調整、画面のフリーズとフリーズ解除、そして画面シェードの表示/非表示を切り替えるボタンがあります。

前面コントロールパネルの詳細については、15 ページ *フロントコントロールパネルの使用* を参照してください。

前面コネクタパネル

前面コネクタパネルには USB周辺機器およびコンピュータまたはその他の入力ソース用のコネクタが含まれています。

前面コントロールパネルの詳細については、35 ページ *ルームコンピュータとゲストのノートパソコンの接続* を参照してください。

周囲光センサー

周囲光センサーはディスプレイのフレームの右下隅にあります。

周囲光センサーは部屋の明るさを検出し、それに応じて画面の明るさを調整します。

電源ステータスライト

電源ステータスはディスプレイのフレームの右下隅にあります。

この電源ステータスLEDはディスプレイのステータスを示しています。

電源ステータスライト	ディスプレイの状態
Red	スタンバイモード
Green	通常の動作モード

リモコンと赤外線センサー

リモコンを使用して、ディスプレイのON/OFFやディスプレイの調整などを行うことができます。

リモコンの赤外線センサーはディスプレイのフレームの右下隅にあります。

リモコンの詳細については、16 ページ*リモコンの使用*を参照してください。

モデルの見分け方

SMART Board MX および MX Proシリーズのインタラクティブディスプレイにはいくつかのシリーズがあります。

V4	V4 Pro	V3	V3 Pro	V2-C	V2-C Pro	V2	V2 Pro	MX
SBID-MX255-V4		SBID-MX255-V3N		SBID-MX255-V2-C		SBID-MX255-V2		SBID-MX365
SBID-MX265-V4		SBID-MX255-V3		SBID-MX265-V2-C		SBID-MX265-V2		SBID-MX375
SBID-MX275-V4		SBID-MX265-V3N		SBID-MX275-V2-C		SBID-MX275-V2		SBID-MX386
SBID-MX286-V4		SBID-MX265-V3		SBID-MX286-V2-C		SBID-MX286-V2		SBID-MX265
SBID-MX255-V4-PW		SBID-MX275-V3N		SBID-MX255-V2-CPW		SBID-MX255-V2-PW		SBID-MX275
SBID-MX265-V4-PW		SBID-MX275-V3		SBID-MX265-V2-CPW		SBID-MX265-V2-PW		SBID-MX286
SBID-MX275-V4-PW		SBID-MX286-V3N		SBID-MX275-V2-CPW		SBID-MX275-V2-PW		
SBID-MX286-V4-PW		SBID-MX286-V3		SBID-MX286-V2-CPW		SBID-MX286-V2-PW		
SBID-MX055-V4		SBID-MX255-V3N-PW				SBID-MX055-V2		
SBID-MX065-V4		SBID-MX255-V3-PW				SBID-MX065-V2		
SBID-MX075-V4		SBID-MX265-V3N-PW				SBID-MX075-V2		
SBID-MX086-V4		SBID-MX265-V3-PW				SBID-MX086-V2		
SBID-MX055-V4-PW		SBID-MX275-V3N-PW				SBID-MX055-V2-PW		
SBID-MX065-V4-PW		SBID-MX275-V3-PW				SBID-MX065-V2-PW		
SBID-MX075-V4-PW		SBID-MX286-V3N-PW				SBID-MX075-V2-PW		
SBID-MX086-V4-PW		SBID-MX286-V3-PW				SBID-MX086-V2-PW		
		SBID-MX055-V3N						
		SBID-MX055-V3						
		SBID-MX065-V3N						
		SBID-MX065-V3						
		SBID-MX075-V3N						
		SBID-MX075-V3						
		SBID-MX086-V3N						
		SBID-MX086-V3						
		SBID-MX055-V3N-PW						
		SBID-MX055-V2-PW						
		SBID-MX065-V3N-PW						
		SBID-MX065-V3-PW						
		SBID-MX075-V3N-PW						
		SBID-MX075-V3-PW						
		SBID-MX086-V3N-PW						
		SBID-MX086-V3-PW						

ヒント

SMART Board MX (V2)、MX Pro (V2)、またはそれ以降のシリーズモデルの場合、ディスプレイの左側のラベルを使用して、そのシリーズを識別できます。詳細については、54 ページ*その他のサポート、販売店へのお問い合わせ*を参照してください。

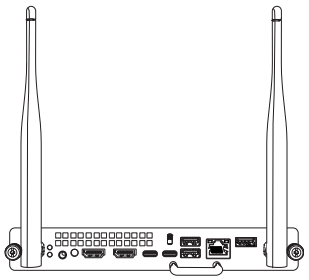
アクセサリ

ディスプレイのアクセサリは次の通りです：

- SMART OPS PCモジュール
- スタンド
- USB延長ケーブル

> **注記**
>
> さらなる情報もしくはその他のアクセサリについてはsmarttech.com/accessoriesをご覧ください。

SMART OPS PCモジュール



SMART Open Pluggable Specification(OPS) PCモジュールは、Intel Core™プロセッサに基づいた手間のかからないWindows Proのインストールを提供し、SMART Boardインタラクティブディスプレイと特に連携するように設計されています。すべてのOPS PCモジュールは、Windows Proで完全にライセンスされています。OPS PCモジュールをディスプレイのアクセサリスロットに取り付けると、外付けPCや追加のケーブルを必要とせずに完全な4K UHD Windowsインストレーションが簡単に提供されます。

SMART Notebook®や、SMART TeamWorks™、SMART Meeting Pro®のような使い慣れたWindowsアプリソフトウェアルームライセンスをインストールしてディスプレイのネットワーク接続を通して直接インターネットにアクセスしましょう。OPS PCモジュールのサービスとアップグレードはディスプレイをマウントから取り外すことなく簡単に行えます。

スタンド

ディスプレイを移動したい場合は、SMARTモバイルスタンドに取り付けることができます。もしディスプレイの全重量を支える事ができない壁に設置する場合は、ディスプレイをSMARTフロアスタンドに取り付けることもできます。

USB延長ケーブル

ディスプレイの仕様に記載されているように、ディスプレイとコンピュータ間のUSBケーブル接続には最大長があります。

より長いUSB接続が必要な場合は、USB-XTエクステンダーを使用してください。*USB-XTエクステンダーの仕様* (smarttech.com/kb/119318)を参照してください。

> **注記**
>
> USB接続の延長の詳細については USB cable extendersをご覧ください。

詳細情報

本ガイドの他に、SMARTはSMARTのウェブサイト (smarttech.com/support) のサポートセクションで、このディスプレイのための文書を提供しています。2 ページのQRコードをスキャンして、SMART Board MXおよびMXProシリーズのインタラクティブディスプレイドキュメントやその他のサポートリソースへのリンクを表示します。

第 2 章 基本機能の使用

ディスプレイのスリープ解除とスリープ設定 14
ホームボタンの使用 15
フロントコントロールパネルの使用 15
リモコンの使用 16
タッチ機能の使用 19
書き込み、描画、および消去 21
デジタルインクでの書き込みと描画 21
SMART Inkのダイナミック(フローティング)ツールバーの使用 21
ペンの既定の色、太さ、およびその他のプロパティの変更 21
デジタルインクの消去 22
音量の調節 22
画面の一時停止または非表示 23
画面の停止 23
スクリーンシェードの表示/非表示 23
ディスプレイでのスマートIDカードの使用 23
SMART IDカードの設定 24
SMART ID カードによるSMART アカウントへのサインイン 25
SMART ID カードでディスプレイをロック・解除する 26
SMART IDカードの管理 26
マイクロホンアレイの使用 27

本章では、ディスプレイのスリープを解除する方法、接続されているコンピューターの入力を表示する方法、そしてディスプレイを操作する方法を説明します。

ディスプレイのスリープ解除とスリープ設定

ディスプレイをスリープ解除するには、前面コントロールパネルまたはリモコンの **電源** ボタン ⏻ を押してください。

ディスプレイを部分的スリープ状態に戻すには、前面コントロールパネルまたはリモコンの **電源** ボタン ⏻ を押してください。

> **注記**
>
> ディスプレイを起動または電源を入れた直後はタッチ機能が利用できません。数秒待てばディスプレーがタッチに反応するようになります。

ディスプレイをオフにする方法については、*SMART Board MX および MX Proインタラクティブディスプレイのインストールおよびメンテナンスガイド* (smarttech.com/kb/171555) を参照してください。

ホームボタンの使用

ホーム画面では、iQアプリを開いたり使用したり、接続されているコンピュータの入力を表示したりできます。また、ホーム画面の背景を変更したり他の機能をカスタマイズすることもできます。ホーム画面の詳細についてはホーム画面についてを参照してください。

入力画面には接続されているコンピュータのサムネイルが表示されており、入力を切り替えることができます。

以下の手順に従って、いつでもホーム画面または入力画面に戻ることができます。

ホーム画面または入力画面の表示

V4 V4 Pro

画面の下にある **ホーム** ボタン を押します。

または

リモコンの **ホーム** ボタン を押してください。

V3 V3 Pro V2-C V2-C Pro V2 V2 Pro

フロントコントロールパネルまたはリモコンの**電源** ボタン を押してください。

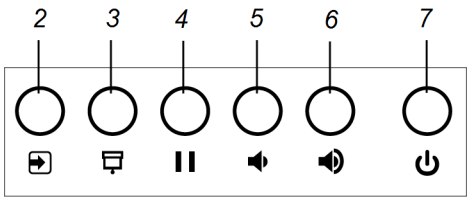
MX

画面の下にある をタップします。

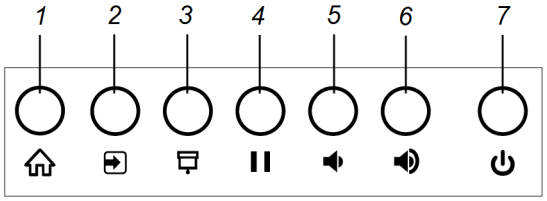
フロントコントロールパネルの使用

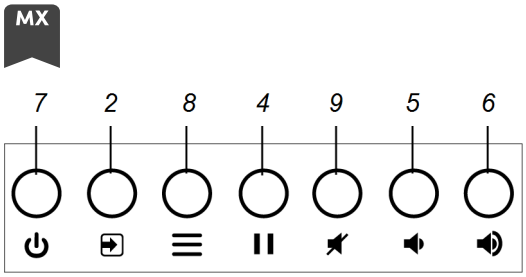
フロントコントロールパネルには、iQホーム画面に戻るボタンと、入力ソースの切り替え、スクリーンシェードの表示/非表示、音量調整、画面の一時停止のオン/オフ、そしてディスプレイの電源のオン/オフのためのボタンがあります。

V4 V4 Pro



V3 V3 Pro V2-C V2-C Pro V2 V2 Pro





No.	名前	手順
1	ホーム	iQホーム画面に戻るために押してください(15 ページ *ホームボタンの使用* を参照)。 **注記** • スマートボードMX(V4)およびMXプロ(V4)シリーズモデルの場合、**ホーム**ボタン は画面の下にあります。 • SMART Board MXシリーズモデルの場合、**ホーム**ボタン は画面の下部にあります。
2	入力の選択	を押して入力を切り替えます(41 ページ *接続したコンピューターの入力の表示*を参照)。
3	スクリーンシェード	スクリーンシェードの背後に画面上のコンテンツを隠すには押してください(23 ページ *画面の一時停止または非表示* を参照)。
4	フリーズ	画面の一時停止をオンオフするには押してください(23 ページ *画面の停止*を参照)。
5	音量を下げる	音量を下げるために押してください(22 ページ *音量の調節* を参照)。
6	音量を上げる	ボリュームを上げるために押してください(22 ページ *音量の調節* を参照)。
7	電源	を押してディスプレイをスリープ解除し、もう一度押すとスリープモードに入ります(14 ページ *ディスプレイのスリープ解除とスリープ設定*を参照)。
8	メニュー	押してディスプレイの設定を開く
9	ミュート	押すとミュート、またはミュート解除されます。

リモコンの使用

ディスプレイには赤外線リモコンが付属しています。

赤外線リモコンを使用して、ディスプレイのオン/オフ、入力の切り替え、音量の制御、ディスプレイのiQアプリへのアクセスなどを行います。リモコンを使用してオンスクリーンメニューを開いたりディスプレイの設定を変更したりすることもできます。

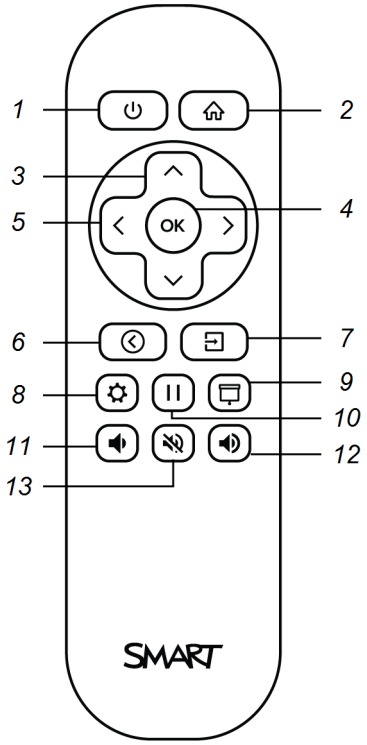
重要事項

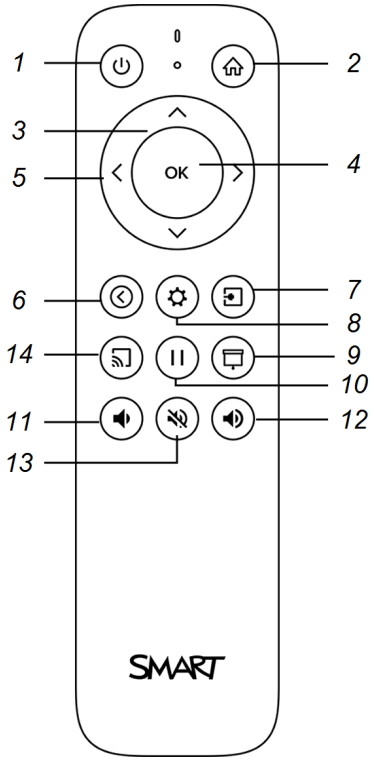
- リモコンに強い衝撃を与えないでください。
- リモコンを液体に近づけないでください。濡れた場合は、すぐに拭いて乾かしてください。

- リモコンを熱や蒸気にさらさないでください。
- リモコンのバッテリー入れ部分以外を開けないでください。

V4 V4 Pro V3 V3 Pro V2-C V2-C Pro V2 V2 Pro

下記の図はリモコンの機能一覧です。

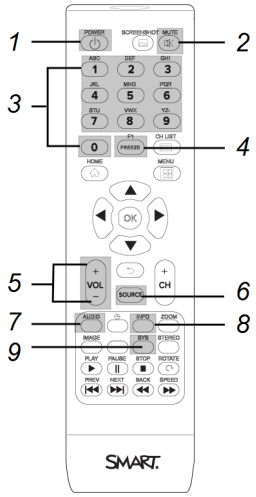




No.	名前	手順
1	電源	• スタンバイモードを開始または終了を押してください(14 ページ *ディスプレイのスリープ解除とスリープ設定* を参照) 。 **注記** ディスプレイを起動または電源を入れた直後はタッチ機能が利用できません。数秒待てばディスプレーがタッチに反応するようになります。 • 4秒間押し続けると、ディスプレイが消灯します。
2	ホーム	iQホーム画面を開いてください(15 ページ *ホームボタンの使用* を参照) 。
3	上下ボタン	設定でメニューオプションを選択します
4	OK	設定のメニューオプションを選択。
5	左右ボタン	選択した設定の値を変更します。
6	戻る	ナビゲーション履歴よりワンステップ戻ります。
7	入力	スイッチ入力(41 ページ *接続したコンピューターの入力の表示*を参照)。
8	設定	ディスプレイ設定を開いてください。
9	スクリーンシェード	スクリーンシェードの背後にスクリーンコンテンツを隠してください(23 ページ *スクリーンシェードの表示/非表示* を参照) 。
10	フレームの一時停止	画面の一時停止のオン/オフ(23 ページ を参照) 。
11	音量を上げる	音量を上げる(22 ページ *音量の調節* を参照) 。
12	音量を下げる	音量を下げる(22 ページ *音量の調節* を参照) 。
13	音量のミュート	音量をミュートする(22 ページ *音量の調節* を参照) 。
14	画面を共有	画面共有アプリを立ち上げる(あなたのデバイスの画面をディスプレイに共有するを見る)。 **注記** このボタンは、すべてのリモートコントロールモデルで利用できるわけではありません。

MX

下記の図はリモコンの機能一覧です。



No.	名前	手順
1	電源	スタンバイモードを開始または終了を押してください(14 ページ *ディスプレイのスリープ解除とスリープ設定* を参照)。
2	ミュート	音量をミュートまたはミュート解除します(22 ページ *音量の調節*を参照)。
3	[数字ボタン]	数字パッドのボタンを押して、設定をカスタマイズする
4	フレームの一時停止	画面の一時停止のオン/オフ(23 ページを参照)。
5	ボリュームの増減	音量を上げたり下げたりします(22 ページ *音量の調節*を参照)。
6	ソース	スイッチ入力(41 ページ *接続したコンピューターの入力の表示*を参照)。
7	オーディオ	ディスプレイの音声モードを変更する
8	情報	現在の入力で検出されたディスプレイの解像度とリフレッシュレートを表示します。
9	設定	ディスプレイ設定を開いてください。

注記

この表に記載され、上の画像でグレーにハイライトされているボタンは、表示に影響を与える唯一のものです。その他のボタンを押すと、リモコンセンサーが点滅しますが、効果はありません。

タッチ機能の使用

SMART 製品の表面に触れることで、アプリケーションの開閉、他のユーザーとのミーティング、ドキュメントの作成または編集、Web サイトへのアクセス、ビデオの再生と操作など、コンピューターで実行できるすべての操作を SMART 製品で実行できます。

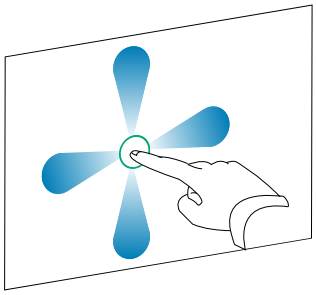
縮小、拡大、回転、ズームイン、アウトを含むいくつものジェスチャーがアプリで使用できます。

このディスプレイは最大で20個の同時インタラクションポイントをサポートしているので、あなたや他のユーザーが同時に画面上のオブジェクトを操作できます。

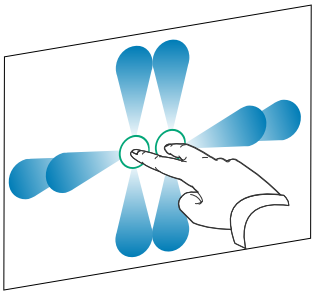
注記

アプリケーションによっては使えないジェスチャもあります。対応しているジェスチャは、アプリケーションのマニュアルを参照してください。

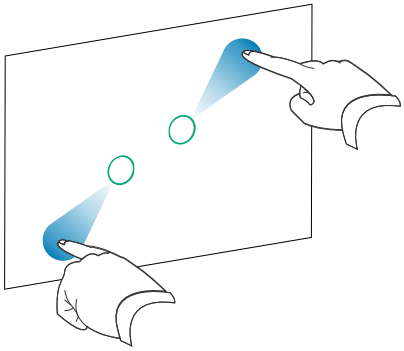
パン (指1本)



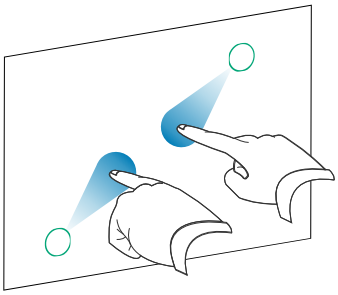
パン (指2本) / スクロール



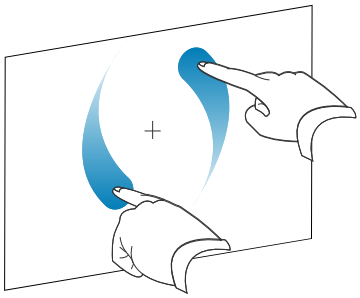
つまんでズームイン /(拡大)



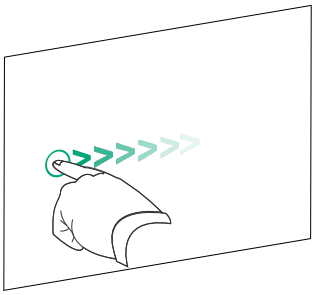
つまんでズームアウト /(縮小)



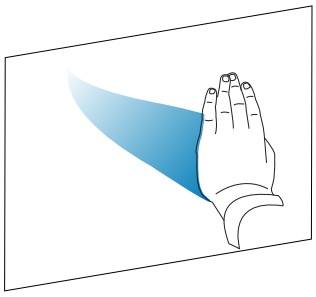
回転



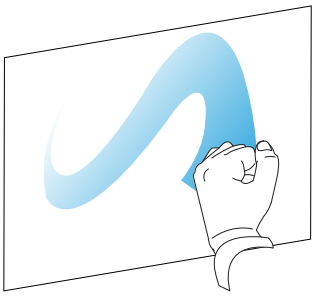
フリック



手のひらで消去



拳で消去



書き込み、描画、および消去

ディスプレイには、デジタルインクで書き込みや描画ができるペンが2本付属しています。デジタルインクを消去するには、ジェスチャまたはアプリの消しゴムツールを使用してください。

デジタルインクでの書き込みと描画

1. ディスプレイのペンを1本手に取ります。
2. デジタルインクで書き込みまたは描画するペンを使用します。

SMART Ink®のダイナミック (フローティング) ツールバーの使用

接続されているコンピュータの入力を表示しながら画面上で描画を開始すると、SMART InkのSMART Ink ダイナミック (フローティング) ツールバーが画面に表示されます。このツールバーを使用して、ペンの色、太さ、またはその他のプロパティを一時的に変更できます。また、スクリーンキャプチャ、スポットライト、スクリーンシェードなど、SMART Inkの他のツールにアクセスすることもできます。

SMART Inkとそのツールバーの詳細については、SMART Product DriversとInkのサポートページをご覧ください。こちらで始めるために役立つリンクをご覧ください:

- SMART Inkのオン/オフ
- ダイナミック (フローティング) ツールバーを開く
- ツールバーを閉じる(隠す)
- プレゼンテーションツールの使用

ペンの既定の色、太さ、およびその他のプロパティの変更

接続されているコンピュータの入力を表示している際は、SMART Ink Dynamic (フローティング) ツールバーを使用してペンの色や太さなどの性質を一時的に変更できます。

ペンの既定の色や、太さ、およびその他の性質を変更するには、ペン、消しゴム、ボタン設定の変更を参照してください。

デジタルインクの消去

手のひらや拳を使用して画面からデジタルインクを消去できます:

デジタルインクを消去するには

消去するデジタルインク上で拳や掌を動かします。

音量の調節

フロントコントロールパネルまたはリモコンのボタンを使用して、ディスプレイの音量を増減、またはミュートします。

> **注記**
>
> ディスプレイの音声に問題がある場合は50 ページ *音声が出ない、または音声に問題がある*を参照してください。

音量の上下

前面コントロールパネルまたはリモコンの **音量大** ボタン または **音量小** ボタン を押します。

> **注記**
>
> - **音量ダウン** ボタン を押したままにすると音量をすばやく下げる事ができます。
> - 前面コントロールパネルまたはリモコンの **音量大** ボタン または **音量小** ボタン を押すと、画面上のスライダーを使用して音量を調整できます。

音量のミュート

リモコンの **ミュート** ボタンを押します。

画面の一時停止または非表示

ディスプレイのフリーズ機能とスクリーンシェード機能を使用して、画面の内容を一時的にフリーズまたは非表示にすることができます。

画面の停止

フロントコントロールパネルまたはリモコンの**フリーズ**ボタン❙❙を押すと、画面を一時停止できます。これはビデオや、アニメーション、または動く画像を一時停止する場合に特に便利です。

> **注記**
>
> 画面を一時停止しても接続しているコンピューターで実行中のアプリケーションは停止しません。画面が停止するだけです。

> **ヒント**
>
> フリーズしているときにスクリーン越しに書き込むことが出来ます(21 ページ*書き込み、描画、および消去*)を見る。iQ が有効になっている場合は、手書きまたは描画のスクリーンショットをファイルライブラリに保存できます(ファイルの開き方と管理を参照)。

画面の一時停止を解除するには、**Freeze**ボタン❙❙をもう一度押します。

スクリーンシェードの表示/非表示

V4 V4 Pro V3 V3 Pro V2-C V2-C Pro V2 V2 Pro

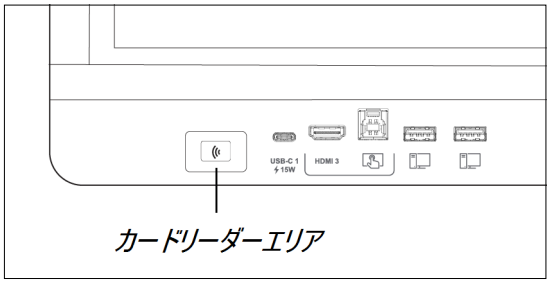
フロントコントロールパネルまたはリモコンの**スクリーンシェード**ボタンを押すと、バーチャルスクリーンシェードの背後にスクリーンコンテンツを一時的に非表示にすることができます。

スクリーンシェードを削除して画面の内容を再度表示するには、もう一度**スクリーンシェード**ボタンを押してください。

ディスプレイでのスマートIDカードの使用

V4 V4 Pro

SMART Board MX (V4)およびMX Pro (V4)シリーズモデルの統合されたRFID NFCリーダー/ライターテクノロジーを使用すると、SMART IDカードをディスプレイのフレームのカードリーダー領域にかざして(下の写真)、PINを入力することで、スマートアカウントにサインインできます。



SMART ID カードを設定したら、それを使用して、iQ で NFC 対応の SMART Board インタラクティブディスプレイにサインインできます。

SMART IDカードでサインインすると、SMARTアカウントの通常の機能を利用することができます。ディスプレイの壁紙などのパーソナライズ設定や、Google Drive™やOneDrive™からのファイルダウンロードが可能です。SMART アカウントが有効な SMART Learning Suite サブスクリプションに接続されている場合は、SMART Notebook ソフトウェアと SMART のLumio™からすべてのレッスンファイルをディスプレイに同期することもできます。

NFCサインインが必要です:

- iQシステムバージョン3.12 SP2以降。
- ネットワークに接続するディスプレイ。

重要事項

SMART IDカードのみ対応。

注記

- SMART IDカードをフレームのカードリーダー領域にかざすときは、カードをできるだけ平らに保ちます。
- 異なるサービス地域を選択した場合、SMART IDカードを取り外して再度セットアップする必要があります。
- 1台のディスプレイでSMARTアカウントにサインインしているときに、もう1台のディスプレイでサインインすると、両方のディスプレイでSMARTアカウントにサインインすることになります。

ヒント

SMARTアカウントにサインインした後、セッション終了時に必ずサインアウトし、アカウントの安全性を確保してください。セキュリティを強化するために、IT 管理者は、[設定] > *セキュリティ*内の **自動非アクティブログアウト** 設定を有効にして、非アクティブ状態が一定時間続くと、ディスプレイがユーザーの SMART アカウントから自動的にサインアウトするようにすることができます。

SMART IDカードの設定

1. プロフィールアバターをタップして、*通知センター*を開きます。

2. 通知センターの下部にある[**サインイン**]をタップして、SMARTアカウントにサインインするためのオプションを選択します。プロンプトが表示されたら、ユーザー名のパスワードを入力します。
3. 通知センターをもう一度開き、[アカウントを編集] > [ID カード **の設定] > [ID カードの追加**] をタップします。
4. PIN(セキュリティ強化のため記号を含むことも可能) を入力し、**次へ**をタップします。

   このPINは、SMART IDカードを使用してSMARTアカウントにサインインするときに使用します。これは、SMART ID カードが不正に使用されることを防ぐためのものです。
5. PIN を再入力し、[**次へ**] をタップします。
6. SMART IDカードをフレームのカードリーダー領域に1〜2秒間保持します。
7. プロンプトが表示されたら、SMART IDカードをフレームのカードリーダー領域に再度1–6秒間保持します。

   これで SMART ID カードがセットアップされ、ネットワークに接続されている NFC 対応の SMART Board インタラクティブディスプレイで SMART アカウントにサインインするために使用できます。

SMART ID カードによるSMART アカウントへのサインイン

スマートIDカードを使用してスマートアカウントにサインインするには

1. SMART IDカードをフレームのカードリーダー領域に1〜2秒間保持します。
2. PINを入力し、**次へ**をタップします。
3. SMART IDカードをフレームのカードリーダー領域に1〜2秒間保持します。

   ディスプレイ上でSMARTアカウントにサインインしている状態です。

SMART アカウントからサインアウトするには

1. プロフィールアバターをタップして、通知センターを開きます。

2. 通知センターの下部にある、**サインアウト** をタップします。

SMART ID カードでディスプレイをロック・解除する

注記

- SMART IDカードを使用したディスプレイのロックとロック解除は、iQシステムバージョン3.11以降でサポートされています。
- SMART IDカードを使用してディスプレイをロックおよびロック解除する前に、SMART IDカードを設定する必要があります(24 ページ*SMART IDカードの設定を参照*)。
- SMART IDカードを使用してディスプレイをロックおよびロック解除するには、SMARTアカウントにサインインする必要があります(25 ページ*SMART ID カードによるSMART アカウントへのサインインを参照*)。
- 不正アクセスを防ぐために、PINでディスプレイを一時的にロックすることもできます。ロック画面の PIN を設定するを参照してください。画面のロックに使用したもの以外の SMART ID カードを使用しようとする場合は、ロック画面の PIN を入力して画面のロックを解除する必要があります。

SMART ID カードでディスプレイをロックするには

SMART IDカードをフレームのカードリーダー領域に1〜2秒間保持します。

SMART ID カードでディスプレイのロックを解除するには

SMART IDカードをフレームのカードリーダー領域に1〜2秒間保持します。

注記

画面のロックに使用したカードとは異なる SMART ID カードを使用して画面のロックを解除しようとすると、ロック画面の PIN を入力するように求められます。ロック画面の PIN の使用方法については、「ロック画面の PIN を設定する」を参照してください。

SMART IDカードの管理

SMART IDのPINを変更する場合

注記

新しいPINを選択すると、古いPINでの画面ロック解除はできなくなります。

1. ディスプレイでSMARTアカウントにサインインする(25 ページ*SMART ID カードによるSMART アカウントへのサインインををご覧ください*)。

2. プロフィールアバターをタップして、通知センターを開きます。

3. 通知センターの下部にある [**アカウントを編集] > [ID カードの PIN をリセット**] をタップします。
4. PIN(セキュリティ強化のため記号を含むことも可能) を入力し、**次へ**をタップします。
5. SMART IDカードをフレームのカードリーダー領域に1〜2秒間保持します。
6. プロンプトが表示されたら、SMART IDカードをフレームのカードリーダー領域に再度1〜6秒間保持します。

   SMART IDカードに関連付けられているPINが変更されました。

SMART IDカードをSMARTアカウントから削除するには

> **注記**
>
> SMART IDカードをSMARTアカウントから削除すると、そのカードでアカウントにサインインすることができなくなります。

1. ディスプレイでSMARTアカウントにサインインする(25 ページ *SMART ID カードによるSMART アカウントへのサインインを*をご覧ください) 。
2. 通知センターを開き 、**[アカウントを編集]>[IDカードを削除**]をタップします。
3. [**削除]**をタップします。

   これで、SMART IDカードがアカウントから削除されました。

マイクロホンアレイの使用

V4 V4 Pro

ディスプレイで会議アプリを使用しながら、マイクアレイで音声を取り込むことができます。また、部屋のコンピュータやゲスト用のノートパソコンをディスプレイに接続し、接続したコンピュータのマイクアレイの代わりに、ディスプレイに内蔵されたマイクアレイを使用することもできます。マイクアレイの採用により、選音性の向上とノイズキャンセルを実現しました。

> **注記**
>
> サードパーティアプリのインストールの詳細については、iQエクスペリエンスでのアプリの追加と管理を参照してください。

ディスプレイの会議アプリでマイク配列を使用するには

ディスプレイで会議アプリを起動する。

ディスプレイのマイクアレイが自動的に選択されない場合は、会議アプリのサウンドコントロールを開き、サウンド入力デバイスの一覧から「 **SMART IFP Mic** 」を選択してください。

> **ヒント**
>
> ディスプレイの会議アプリのサウンドコントロールで、バックグラウンドノイズの低減やマイク感度などの設定を調整します。

接続されたコンピューターでマイク配列を使用するには

1. コンピュータおよびディスプレイを接続し、ディスプレイの入力として選択する。(41 ページ *接続したコンピューターの入力の表示をご覧ください*) 。
2. 接続されているコンピュータのサウンドコントロールを開いてください。

Windowsコンピュータ	[**スタート**] > [**設定**] > [**システム** > **サウンド** > **入力**] > **入力デバイスを選択します**。
Macコンピューター	**「システム環境設定」>アップルメニュー**を選択し、「 **サウンド** 」をクリックしてから、「 **入力** 」をクリックします。

3. 音声入力デバイスのリストから、**SMART IFP Mic** を選択します。

> **ヒント**
>
> 接続したコンピュータのサウンドコントロールを使って、入力音量やバックグラウンドノイズの低減などの設定を調整します。

接続したコンピュータで会議アプリを使用する際、マイクアレイをデフォルトのマイクとして設定すること

1. コンピュータをディスプレイに接続し、ディスプレイの入力として選択します (41 ページ *接続したコンピューターの入力の表示をご覧ください*)。
2. パソコンで会議アプリを起動する。
3. 会議アプリのサウンドコントロールを開き、サウンド入力デバイスの一覧から **SMART IFP Mic** を選択します。

> **ヒント**
>
> 会議アプリのサウンドコントロールで、入力音量や周囲の雑音除去などの設定を調整する。

第 3 章 iQアプリの使用

ホーム画面の使用 29
アプリライブラリの使用方法 29
ファイルライブラリの使用方法 29
SMART ホワイトボードの使用 30
ブラウザの使用 30
画面の共有 (Screen Share) の使用方法 30
画面キャプチャの使用 30
サードパーティ製アプリのインストール 31
ディスプレイのクリーンアップ 31

ホーム画面の使用

ホーム画面には、最近使用したファイルとお気に入りアプリ、ファイルが表示されます。

ホーム画面の表示方法

画面の下にあるホームボタンをタップします。

ホーム画面の他の機能の使い方については、「ホーム画面を理解する」を参照してください。

アプリライブラリの使用方法

アプリライブラリには、ブラウザとSMARTホワイトボードが含まれています。また、ウェブやSMARTのアプリストアからアプリを追加したり、サードパーティのアプリをインストールする事もできます。

アプリライブラリの開き方

ホーム画面から、**アプリ** をタップします。

アプリライブラリのその他の機能の使用方法については、アプリライブラリとはを参照してください。

ファイルライブラリの使用方法

ファイルライブラリには、SMART Notebook ファイル、SMART ホワイトボード、PDF、およびスクリーンショットが含まれています。USBドライブがディスプレイに接続されている場合、このUSBドライブ内のファイルもファイルライブラリで利用できます。これらのファイルはディスプレイ上で見ることはできますが、ディスプレイには保存されません。

ファイルライブラリの開き方

ホーム画面で、**ファイル** をタップします。

ファイルライブラリのその他の機能の使用方法については、ファイルライブラリとはを参照してください。

SMART ホワイトボードの使用

iQ の SMART ホワイトボードを使用してホワイトボードを作成し、SMART Notebook レッスンファイルを開いて表示し、操作します。

SMART ホワイトボードの詳細については、「SMART ホワイトボードツールについて」を参照してください。

ブラウザの使用

ブラウザを使用してディスプレイ上でウェブサイトを閲覧することができます。

ブラウザの詳細については、ディスプレイでインターネットの閲覧を参照してください。

画面の共有 (Screen Share) の使用方法

画面の共有機能を使用して、コンピューターやモバイルデバイスの画面をワイヤレスでディスプレイ上で共有することができます。

画面の共有機能が対応しているデバイス:

- Google™Cast を使用したChromebook™のノートパソコン
- Windowsコンピュータ、Miracast[1]またはGoogle Cast Chrome™ブラウザ拡張を使用する。
- MacコンピューターとiOSデバイス、AirPlayを使用
- Android™デバイス、Cast画面を使用

画面共有の他の機能の使用方法については、デバイスの画面をディスプレイに共有するをご覧ください。

画面キャプチャの使用

ブラウザアプリまたは画面共有アプリを使用する場合、書き込みレイヤに書き込みや描画を行い、スクリーンショットをファイルライブラリに保存できます。

スクリーンショットの詳細については、アプリ上での書き込みと描画を参照してください。

[1]Windows 10 オペレーティングシステムのみ

サードパーティ製アプリのインストール

SMART Remote Management.を使用すればGoogle Play™のストアからサードパーティのアプリをインストールできます。

サードパーティ製アプリのインストールの詳細については、サードパーティ製アプリのディスプレイへの展開を参照してください。

ディスプレイのクリーンアップ

ディスプレイの使用後、ランチャーを表示して**クリーンアップ** をタップし、次のユーザーのためにディスプレイをクリーンアップします。

詳細については、次のユーザーためのディスプレイの準備を参照してください。

第 4 章 コンピュータおよび他のデバイスの接続

SMARTソフトウェアのインストールと使用 32
SMARTソフトウェアのダウンロードとインストール 33
SMARTソフトウェアの使用 33
ルームコンピュータとゲストのノートパソコンの接続 35
接続したコンピューターの入力の表示 41
接続されたコンピュータの解像度とリフレッシュレートの設定 42
接続されているコンピュータのトラブルシューティング 43
SMART OPS PCモジュールの接続 43
USBドライブ、周辺機器、その他のデバイスの接続 43

警告

床に配線されたディスプレイのケーブル類は、適切に束ねた上で、つまずきの危険防止標識が付けられていることを確認してください。

SMARTソフトウェアのインストールと使用

このディスプレイには接続されたコンピュータにインストールできる次のソフトウェアが付属しています:

ソフトウェア	説明	注
SMART Notebook	SMART Boardインタラクティブディスプレイで使用するために設計された無料のソフトウェア。SMART Notebookソフトウェアには、学生のための魅力的なレッスンを作成、編集、提供するために使用できる多くの機能が付属しています。	SMART Notebookを参照してください。
SMART Meeting Pro	事実上無制限のインタラクティブなワークスペースでアイデアを捉えることができるソフトウェアです。	Proモデルのみ。
SMART Product Drivers	コンピュータがディスプレイからの入力を検出できるようにするソフトウェアです。	SMART Notebook および SMART Meeting Pro ソフトウェアに含まれています。
SMART Ink	アプリケーションや、ファイル、フォルダ、ウェブサイト、およびその他の開いているウィンドウの上にデジタルインクで書き込みおよび描画できるソフトウェアです。	SMART Notebook および SMART Meeting Pro ソフトウェアに含まれています。

ソフトウェア	説明	注
SMART Remote Management	リモート管理、サポート、コントロール、そしてディスプレイとその他のデバイスのセキュリティのためのクラウドベースモバイルデバイスマネジメントソフトウェア。	付属の保証期間のサブスクリプション[1]

ヒント

他のコンピューターにもインストールするには、SMARTソフトウェアのための追加ライセンスまたはサブスクリプションを購入できます。

以下のソフトウェアも用意されていますが別売りです:

ソフトウェア	説明	注
SMART Learning Suite	レッスン提供、アクティビティ、評価、共同ワークスペースを組み合わせたデスクトップとオンラインソフトウェアのセット。SMART Notebook Plus ソフトウェアとSMART のLumioが含まれています。	詳細については、SMART Learning Suite を参照してください。
SMART TeamWorks Room	ミーティングをシンプルに、さらに容易に、離れた場所の人も参加者ももっと自然に交流できるソフトウェア。	詳細については、SMART TeamWorksを参照してください。

SMARTソフトウェアの購入については、SMART正規販売店(smarttech.com/where)にお問い合わせください。

SMARTソフトウェアのダウンロードとインストール

SMARTソフトウェアをsmarttech.com/downloadsからダウンロードし、SMART Notebookのインストールおよびメンテナンス、SMART TeamWorksのインストールまたはSMART Meeting Proのインストールおよびメンテナンスの手順に従ってインストールしてください。

SMARTソフトウェアの使用

SMART ソフトウェアの使用の詳細に関しては、次のSMARTウェブサイトのサポートページを参照してください。

- SMART Notebook
- Lumio by SMART
- SMART Learning Suite
- SMART TeamWorks
- SMART Meeting Pro

[1]サブスクリプション条件は地域によって異なる場合があります。

- SMART Product Drivers と Ink
- SMART Remote Management

SMART Product DriversとInkは、ディスプレイに接続されたコンピュータにインストールされて使用され、タッチ機能やデジタルインクの機能を有効にします。このサポートソフトウェアは、SMART Notebook、SMART Meeting Pro、SMART TeamWorksなどのSMARTのソフトウェア製品に含まれており、無料でダウンロードすることもできます。

SMART Product DriversおよびInkのソフトウェアには、ディスプレイのデフォルト設定をカスタマイズし、一般的な問題のトラブルシューティングに使用できるさまざまな機能があります。

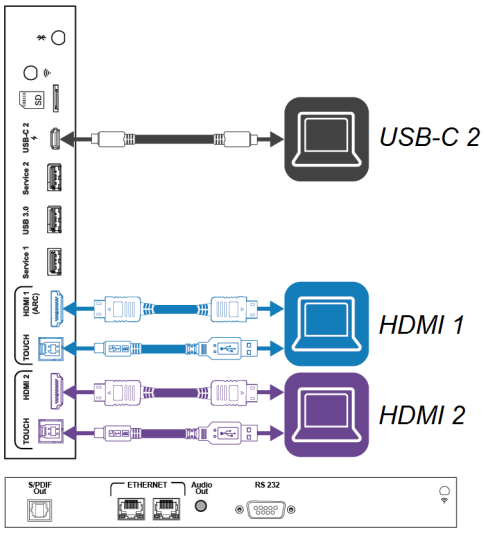
- タッチ、マウス、ジェスチャの設定を調整します。
- SMART Ink をオンまたはオフにする
- Microsoft® Office製品ではSMART Inkを使用してください。

ルームコンピュータとゲストのノートパソコンの接続

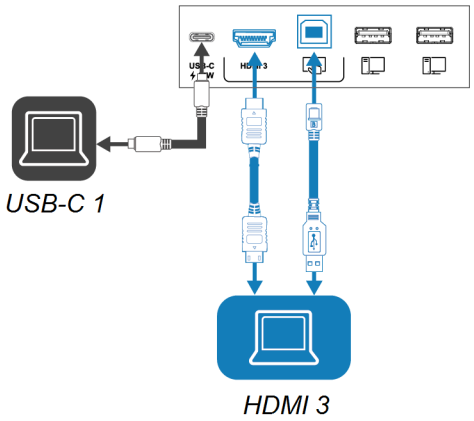
ルームコンピュータとゲストのノートパソコンをディスプレイに接続し、その入力を表示して操作することができます。

V4

側面と底面のコネクタパネル

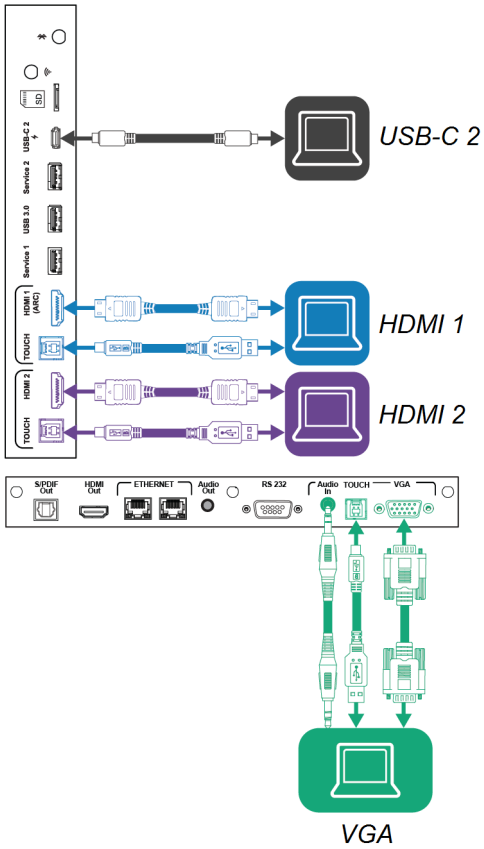


前面コネクタパネル

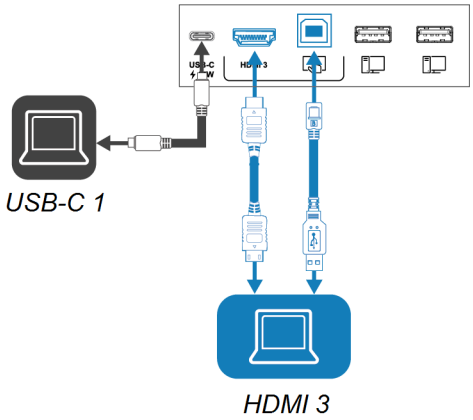


V4 Pro

側面と底面のコネクタパネル

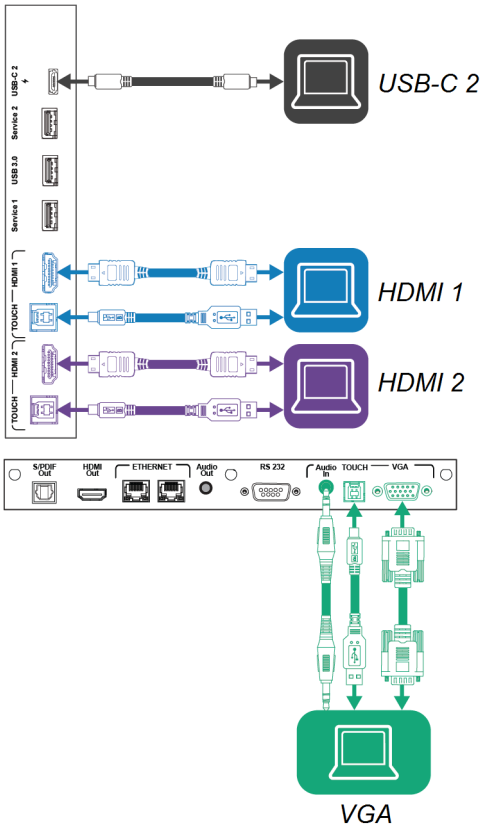


前面コネクタパネル

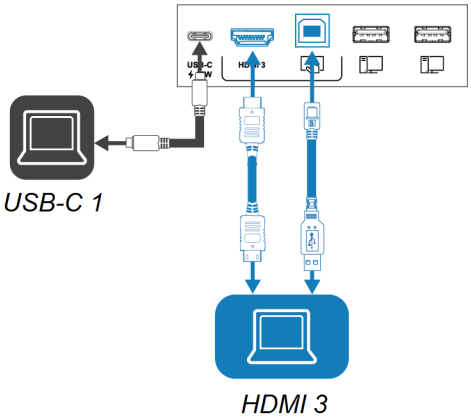


V3 V3 Pro

側面と底面のコネクタパネル

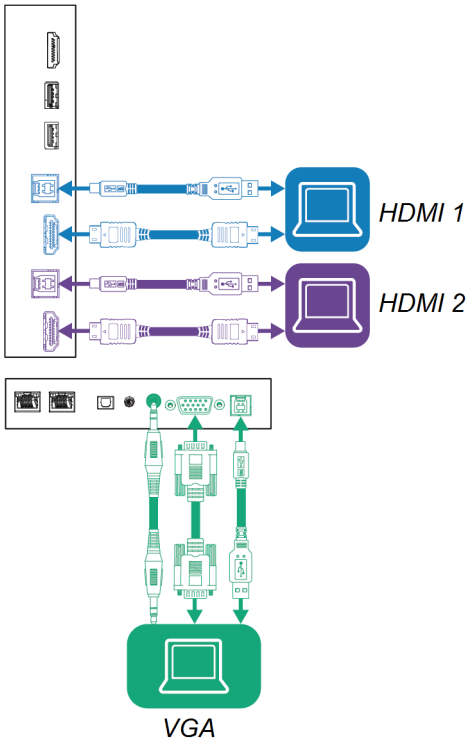


前面コネクタパネル

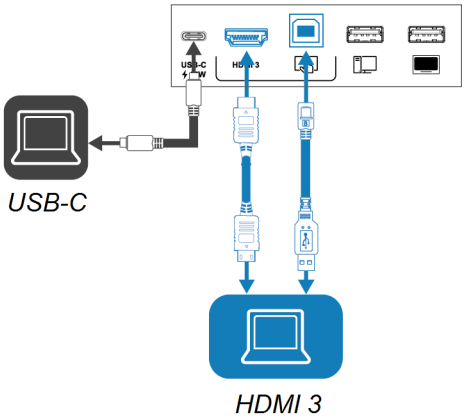


V2-C V2-C Pro

側面と底面のコネクタパネル

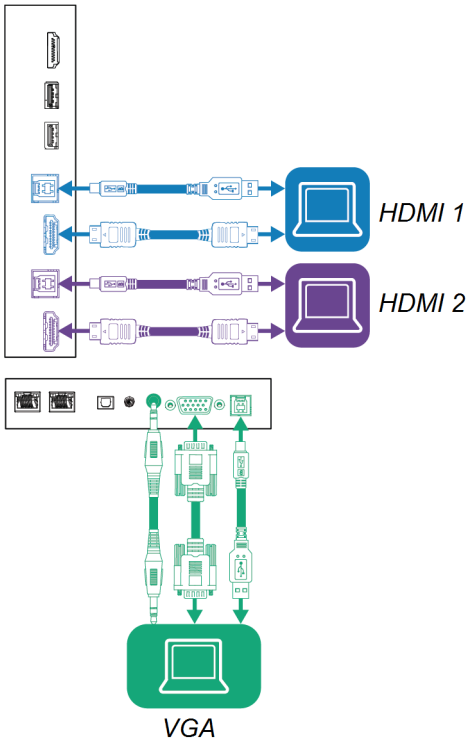


前面コネクタパネル

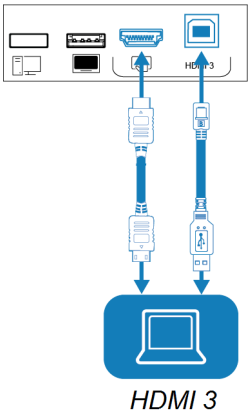


V2 V2 Pro

側面と底面のコネクタパネル

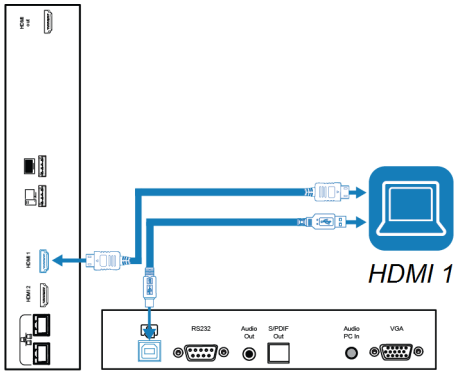


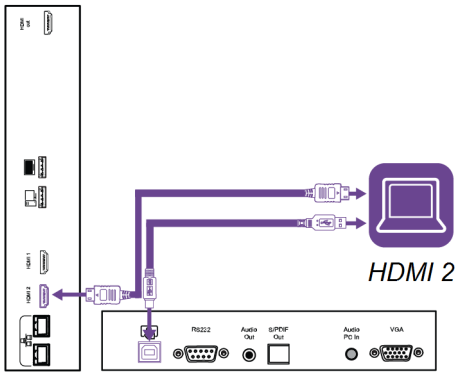
前面コネクタパネル

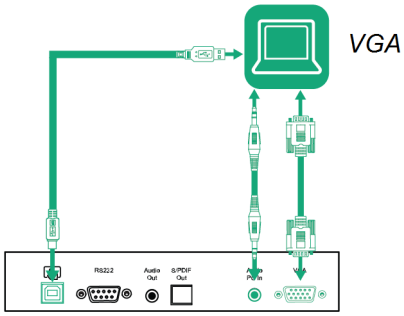


MX

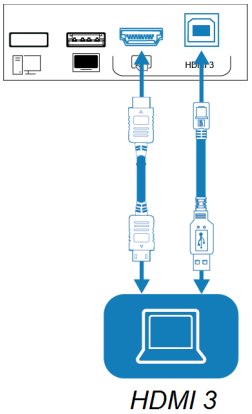
側面と底面のコネクタパネル







前面コネクタパネル



注記

- ディスプレイに接続する全てのコンピュータにSMARTソフトウェアをインストールしてください(32 ページ *SMARTソフトウェアのインストールと使用* を参照) 。
- 組織の設置者がディスプレイにケーブルを接続した可能性があり、コンピューターを設置することができる壁の後ろかまたは机やテーブルの床下にケーブルを走らせます。

- ディスプレイの USB タイプ C レセプタクルを使用してデバイスを充電できます。

モデル	USB タイプ C レセプタクルの位置	最大充電容量
V4 V4 Pro V3 V3 Pro V2-C V2-C Pro	前面コネクタパネル	15W
V4 V4 Pro V3 V3 Pro	サイドコネクタパネル(アクセサリスロットにモジュール未装着時)	65 W
V4 V4 Pro V3 V3 Pro	サイドコネクタパネル(モジュールをアクセサリスロットに装着した場合)	30 W

- 接続されたコンピューターが「USB ハブが多すぎます」または「起動できません (コード 10)」と報告する場合は、ナレッジベースの記事 SMART Board インタラクティブディスプレイと USB 層構造の使用を参照してください。

接続したコンピューターの入力の表示

V4 V4 Pro V3 V3 Pro V2-C V2-C Pro V2 V2 Pro

1. ディスプレイにコンピューターを接続します。
2. 次のいずれかの方法で使用可能な入力を表示します。
   - iQが有効になっている場合は、ホーム画面で「**入力**」をタップします。

     または

     iQが無効になっている場合は、**ホーム**ボタン(または)を押します。
   - 前面コントロールパネルの**入力**を押してください。
   - リモコンの**入力**を押してください。

   ディスプレイの入力に接続されているデバイスを示す、小さい画像が表示されます。
   - 画像が灰色表示の場合、デバイスは入力ポートに接続されていません。
   - サムネイルが黒の場合、デバイスは入力ポートに接続されていますが、スタンドバイモードになっています。
   - プレビュー画面を表示している画像は、アクティブなデバイスが入力ポートに接続されていることを示します。
   - **タッチが有効になっている** サムネイルは、ディスプレイとデバイスの間にUSBケーブルが接続されており、タッチが使用可能であることを示しています。
3. コンピューターの画像をタップします。

MX

1. ディスプレイにコンピューターを接続します。
2. フロントコントロールパネルの**入力** を押します。

   入力選択メニューが表示されます。

   > **注記**
   >
   > 接続されたデバイスのある入力は青色で表示され、接続がない入力は黒色で表示されます。

3. コンピュータの入力メニューオプションをタップします。

接続されたコンピュータの解像度とリフレッシュレートの設定

この表は、ディスプレイのUSB-CおよびHDMI入力の推奨解像度とリフレッシュレートを示しています。

解像度	入力アスペクト比	モード：	リフレッシュレート
3840 × 2160	16:9	UHD / 2160p	59.94 Hz / 60 Hz 50 Hz 29.97 Hz / 30 Hz 25 Hz 23.98 Hz / 24 Hz
1920 × 1080	16:9	FHD / 1080p	59.94 Hz / 60 Hz 50 Hz 29.97 Hz / 30 Hz 25 Hz 23.98 Hz / 24 Hz
1360 × 768	16:9	HD	60.015 Hz
1366 × 768	16:9	HD	60.015 Hz
1280 × 720	16:9	HD / 720p	59.94 Hz / 60 Hz 50 Hz 29.97 Hz / 30 Hz 25 Hz 23.98 Hz / 24 Hz
720 × 480	16:9	480p (DVDプレーヤー)	60 Hz

この図はディスプレイの入力の推奨解像度とリフレッシュレートを提示します。

解像度	入力アスペクト比	モード：	リフレッシュレート
1920 × 1080	16:9	[N/A]	60.000 Hz
1600 × 1200	4:3	[N/A]	60.000 Hz

解像度	入力アスペクト比	モード：	リフレッシュレート
1360 × 768	16:9	該当なし	60.015 Hz
1280 × 1024	5:4	SXGA 60	60.020 Hz
1024 × 768	4:3	XGA 60 XGA 70 XGA 75	60.004 Hz 70.069 Hz 75.029 Hz
800 × 600	4:3	SVGA 60 SVGA 72 SVGA 75	60.317 Hz 72.188 Hz 75.000 Hz
640 × 480	4:3	VGA 60	59.940 Hz

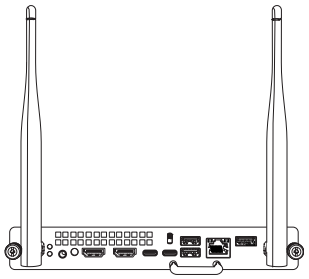
可能ならば、これらの解像度とリフレッシュレートに接続されたコンピューターを設定してください。手順に関しては、接続しているコンピューターのオペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

接続されているコンピュータのトラブルシューティング

接続されているコンピュータのトラブルシューティング情報については、46 ページ*トラブルシューティング*を参照してください。

SMART OPS PCモジュールの接続

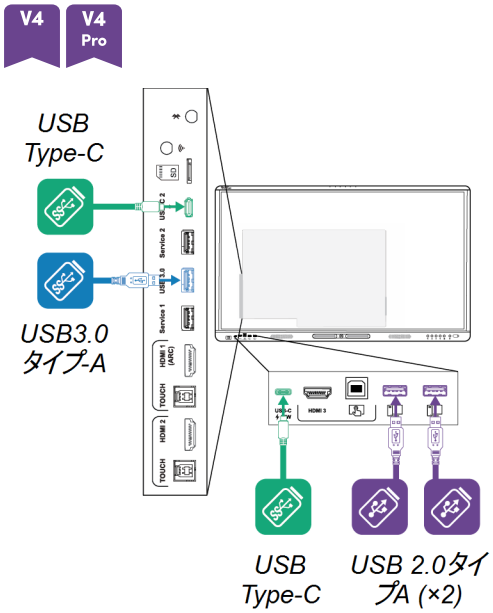
組織がSMART OPS PC モジュールを購入した場合、ユーザーまたは組織のインストーラーは、OPS PC モジュールのインストール手順 (smarttech.com/kb/171775 または smarttech.com/kb/171544) に従って、ディスプレイのアクセサリスロットに OPS PC モジュールを取り付けることができます。その後、OPS PCモジュールの入力をディスプレイに表示できます。

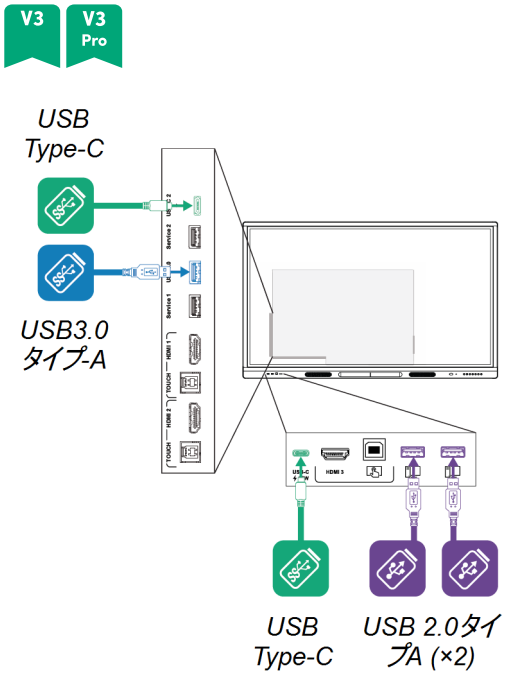


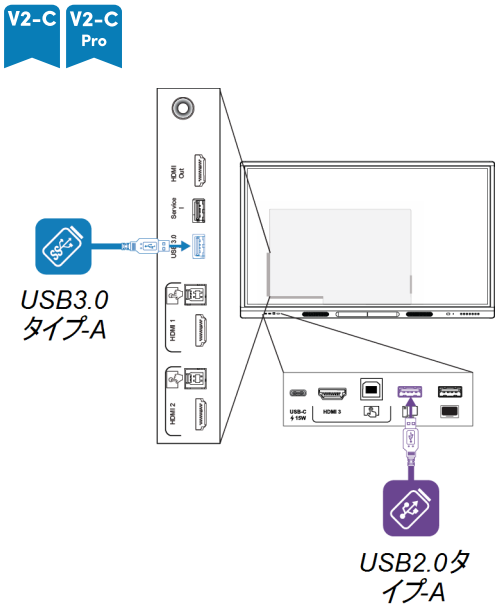
SMART OPS PCモジュールの詳細については、*SMART OPS PC モジュールのユーザーガイド* (smarttech.com/kb/171747) を参照してください。

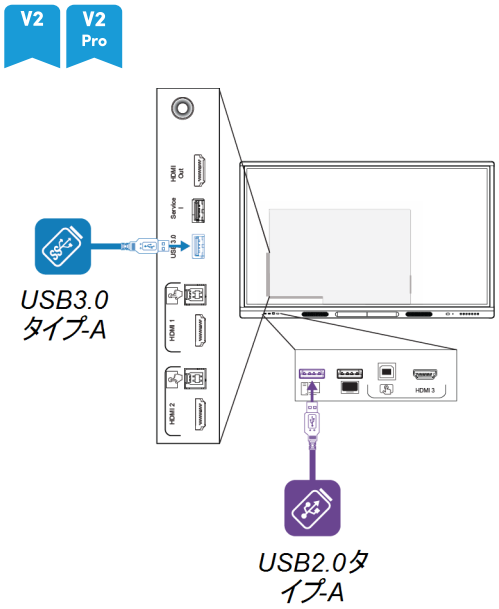
USB ドライブ、周辺機器、その他のデバイスの接続

ディスプレイには、次の USB レセプタクルが含まれています。これらのコネクターにUSBドライブ、周辺機器 (キーボードなど) 、およびその他のデバイスを接続し、iQ、接続されたコンピュータ、およびアクセサリースロットにインストールされたデバイス(SMART OPS PCモジュールなど) でデバイスを使用できます。

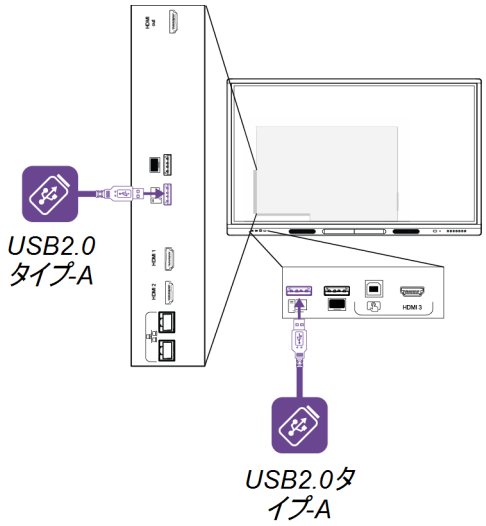

V4
V4 Pro
USB Type-C
USB3.0 タイプ-A
USB Type-C
USB 2.0タイプA (×2)


V3
V3 Pro
USB Type-C
USB3.0 タイプ-A
USB Type-C
USB 2.0タイプA (×2)


V2-C
V2-C Pro
USB3.0 タイプ-A
USB2.0タイプ-A


V2
V2 Pro
USB3.0 タイプ-A
USB2.0タイプ-A

MX



次の表に、各入力でサポートされている USB 速度を示します。

入力	USB2.0タイプ-A	USB3.0タイプ-A	USB Type-C
iQ	ハイスピード	スーパースピード	スーパースピード
USB-C 1	ハイスピード	ハイスピード	ハイスピード
USB-C 2	ハイスピード	ハイスピード	ハイスピード
HDMI 1	ハイスピード	スーパースピード	スーパースピード
HDMI 2	ハイスピード	スーパースピード	スーパースピード
HDMI 3	ハイスピード	スーパースピード	スーパースピード
VGA	ハイスピード	スーパースピード	スーパースピード
アクセサリスロット	ハイスピード	スーパースピード	スーパースピード

第 5 章 トラブルシューティング

ディスプレイの電源が入っていません 46
画面に何も表示されていないか、画面上の画像に問題があります 47
音声が出ない、または音声に問題がある 50
タッチが正常に動作していません 51
ペンと消しゴムが正常に動作していません 51
NFC サインインが期待どおりに機能しない 52
iQアプリが正常に動作していません 52
接続されたコンピュータのSMARTソフトウェアが正常に動作していません 53
SMART OPS PCモジュールが思い通りに作動しない 53
Intel Compute Cardが正常に動作していない 53
最低限必要な SMART 製品ドライバーのバージョン 53
その他のサポート、販売店へのお問い合わせ 54

このページでは、ディスプレイに関するさまざまな一般的な問題を解決する方法について説明します。特定の問題が以下に説明されていない場合、または問題の解決策が機能しない場合には、SMARTのナレッジベースでトラブルシューティングの詳細を参照してください。

community.smarttech.com/s/topic/0TO0P000000Xt5yWAC/mx-series

ディスプレイの電源が入っていません

兆候について	トラブルシューティングの手順
電源LEDが点灯していません。	• AC電源差込口の横にあるスイッチが(I)の位置でONになっていることを確認します。 • 電源ケーブルが、コンセントとディスプレイの両方にしっかりと固定されていることを確認します。 **注記** 電源バーに電源ケーブルが接続されている場合、電源バーがコンセントにしっかりと固定されており、オンになっていることを確認します。 • 別のデバイスでテストして、電源コンセントが動作することを確認します。 • 別のデバイスでテストして、電源ケーブルが動作することを確認します。
電源LEDは点灯してますが、画面に何も表示されていません。	• ディスプレイの前面またはリモコンの電源ボタンを押してください。 • ディスプレイを再起動します。 • 問題がビデオにあるかどうかを確認してください。

画面に何も表示されていないか、画面上の画像に問題があります

兆候について	トラブルシューティングの手順
画面が空白です。	V4 V4 Pro V3 V3 Pro V2-C V2-C Pro V2 V2 Pro • ディスプレイの **ホーム** ボタンまたはリモコンを押して、ホーム画面を開きます。 • 電源ボタン⏻を押して、ディスプレイがスタンバイモードになっていないことを確認してください。 • 接続されているすべてのコンピュータがオンになっていて、省エネモードではないことを確認します。 • ディスプレイと接続されている全てのコンピューターを再起動します。 • 全てのコンピューターとディスプレイを接続しているビデオケーブルを交換し、問題がケーブルにあるかどうか判断してください。 MX • フロントコントロールパネルまたはリモコンの**入力**を押してから、**OPS**を選択してiQに切り替え、ホーム画面を開きます。 • 接続されているすべてのコンピュータがオンになっていて、省エネモードではないことを確認します。 • ディスプレイと接続されている全てのコンピューターを再起動します。 • 全てのコンピューターとディスプレイを接続しているビデオケーブルを交換し、問題がケーブルにあるかどうか判断してください。
コンピューターはディスプレイに接続されているが、画面上に接続メッセージのみが表示される。	• コンピューターが、現在選択されている入力に接続されていることを確認します。 • ディスプレイが接続されたコンピュータのリフレッシュレートに対応していることを確認してください。 42 ページ *接続されたコンピュータの解像度とリフレッシュレートの設定*を参照してください。 • 現在選択されている入力がコンピュータの場合は、コンピュータが省エネモードでないことを確認してください。

兆候について	トラブルシューティングの手順
画面上の画像が歪んでいる。 または 画面に線、ちらつき、その他の視覚的なノイズがあります。 または ちらつきや点滅がある場合、イメージ または 画像が暗くなっています。	V4 V4 Pro V3 V3 Pro V2-C V2-C Pro V2 V2 Pro • ディスプレイまたはリモコンの **ホーム** ボタンを押します。 ホーム画面が正常に表示される場合は、ビデオ入力に問題があります。 • 別の入力に切り替えてから最初の入力に戻ってください。 • 接続されているすべてのコンピュータがオンになっていて、省エネモードではないことを確認します。 • ディスプレイと接続されている全てのコンピューターを再起動します。 • 接続されている全てのコンピューターの解像度とリフレッシュレートを、ディスプレイが対応している値に設定してください。 42 ページ *接続されたコンピュータの解像度とリフレッシュレートの設定*を参照してください。 • コンピュータとディスプレイのビデオケーブルを交換して問題がケーブルであるか確認する。 交換するケーブルが必要な仕様であることを確認してください。 35 ページ *ルームコンピュータとゲストのノートパソコンの接続*を参照してください。 MX • 前面のコントロールパネルまたはリモコンの **入力** を押してから、**OPS** を選択します。 ホーム画面が正常に表示される場合は、ビデオ入力に問題があります。 • IQコントローラがアクセサリスロット確実に搭載され、電源ランプが点灯していることを確認します。 • 別の入力に切り替えてから最初の入力に戻ってください。 • 接続されているすべてのコンピュータがオンになっていて、省エネモードではないことを確認します。 • ディスプレイと接続されている全てのコンピューターを再起動します。 • 接続されている全てのコンピューターの解像度とリフレッシュレートを、ディスプレイが対応している値に設定してください。 42 ページ *接続されたコンピュータの解像度とリフレッシュレートの設定*を参照してください。 • コンピュータとディスプレイのビデオケーブルを交換して問題がケーブルであるか確認する。 交換するケーブルが必要な仕様であることを確認してください。 35 ページ *ルームコンピュータとゲストのノートパソコンの接続*を参照してください。
V4 V4 Pro V3 V3 Pro V2-C V2-C Pro USB Type-C レセプタクルをコンピュータで使用すると画像が表示されない	• コンピュータがUSB Type-C経由でディスプレイポート代替モードビデオをサポートしていることを確認します。コンピュータのUSB Type-Cレセプタクルの横にあるDisplay Portのロゴを探します。存在しない場合、コンピュータはUSB Type-C経由のディスプレイポート代替モードビデオをサポートしていない可能性があります。 • USB Type-C レセプタクルで使用されているケーブルがSuper Speed (5 Gbps) USBをサポートしていることを確認します。ケーブルにSuper Speed USBのロゴが表示されているか探します。ケーブルにSuper Speed USBのロゴがない場合は、ディスプレイポート代替モードビデオデータを運ぶのに必要な内部配線がない可能性があります。

兆候について	トラブルシューティングの手順
画面上に明るい点があります。	V4 V4 Pro V3 V3 Pro V2-C V2-C Pro V2 V2 Pro • ディスプレイまたはリモコンの **ホーム** ボタンを押します。 ホーム画面が正常に表示される場合は、ビデオ入力に問題があります。 • 画面の写真を撮り、SMARTサポートにお送りください。SMARTサポートにより、画面に問題があり、ディスプレイが保証の対象であると判断される場合、代替のディスプレイを提供されます。 MX • 前面のコントロールパネルまたはリモコンの**入力**を押してから、**OPS** を選択します ホーム画面が正常に表示される場合は、ビデオ入力に問題があります。 • 画面の写真を撮り、SMARTサポートにお送りください。SMARTサポートにより、画面に問題があり、ディスプレイが保証の対象であると判断される場合、代替のディスプレイを提供されます。
色が正しく表示されません。	• 2つ以上のディスプレイを横に並べて取り付ける場合には、ディスプレイの色が少々異なる場合があることに注意してください。これは、SMART製品に特有の問題ではありません。 • 画面上で1つの色が完全に欠けている場合や、ホーム画面で色の問題が発生した場合は、54 ページ*その他のサポート、販売店へのお問い合わせ*を参照してください。 • VGAビデオ入力を使用している場合は、別のケーブルを使ったり、異なるソースを接続して、ケーブルや入力ソースに問題があるかどうかを確認してください。 • ディスプレイの色設定を調整したり、工場出荷時の設定に戻すことができます。
画像が切れるかまたは左右にずれています。	• 接続しているコンピューターのビデオ設定、特にズーム、クロップ、アンダースキャンを調整してください。 コンピューターのオペレーティングシステムのマニュアルをご参照ください。 • VGAビデオ入力を使用していて、接続されているコンピュータのデスクトップがすべて黒い場合、ダークグレーまたは別の色に変更してください。 • 接続されているコンピューターのデスクトップが複数の画面にまたがって拡張されている場合は、デスクトップを複数の画面に複製するか、ディスプレイを唯一の画面に設定してください。
画像が画面全体に広がっていません。	• 接続しているコンピューターのビデオ設定、特にオーバースキャンを調整します。 コンピューターのオペレーティングシステムのマニュアルをご参照ください。 • 接続されているコンピューターのビデオコネクタが、サポートされているビデオ信号を出力するように構成されていることを確認してください。サポート技術情報の記事「ラップトップからビデオ表示が出力されない」を参照してください。
ディスプレイにイメージが表示され続けます。	ナレッジベースの記事「画像の永続化またはLCDディスプレイへの焼き付け」を参照してください。

音声が出ない、または音声に問題がある

兆候について	トラブルシューティングの手順
音声が聞こえません。 または 音声は聞こえますが、音量が小さいです。 または 音がひずむかくぐもった。	• 外部オーディオシステムを使用している場合、その電源が入っていることを確認してください。 • コンピューターにディスプレイ接続するケーブルがしっかりと固定されていることを確認します。 **注記** ○ ディスプレイのコネクタのステレオ3.5mmが対応しているのはVGA入力のみです。 ○ 本製品の3.5mmステレオ出力ポートにオーディオケーブルを接続すると、内蔵スピーカーが無効になります。 ○ ディスプレイのS/PDIF出力コネクタを使用して外部スピーカー用のサウンドバーまたはレシーバーを接続する場合は、*SMART Board MX およびMX Proシリーズのインタラクティブディスプレイの設置とメンテナンスガイド*（smarttech.com/kb/171555）を参照してください。 • このディスプレイの3.5㎜出力コネクタを使用している場合は、本製品と接続したコンピューターで音量を調整し、いずれもミュートされていない事を確認してください。 • このディスプレイのS/PDIF出力コネクタを使用している場合は、外部オーディオシステムでで音量を調整し、そのオーディオシステムがミュートされていない事を確認してください。 • ディスプレイのオーディオ設定を調整します。 • 内蔵スピーカーを使用している場合、コンピューターと実行中のアプリケーションの音量を80％に設定した後、ディスプレイの音量を調整します。 または 外部オーディオシステムを使用している場合、コンピューターと、実行中のアプリケーション、およびディスプレイの音量を80%に設定した後、外部オーディオシステムの音量を調整してください。
ディスプレイ背面から、ウィーンまたはジジジという音が聞こえます。	• これは正常な音です。すべてのディスプレイ製品が電気的ノイズを発しています。このノイズの大きさは、ディスプレイごとに異なります。ただし、ディスプレイ前面から音が聞こえる場合は、詳細な点検が必要になります。 • すべてのデバイスを同じ電源コンセントまたは電源タップに接続してください。
V4 V4 Pro マイクアレイが音を拾わない。	• 設定メニューでマイクアレイが有効になっていることを確認します。 • 外部のコンピュータを使用する場合は、コンピュータのオーディオ設定が *SMART IFP Mic* を入力ソースとして使用するように設定されていることを確認してください。

タッチが正常に動作していません

兆候について	トラブルシューティングの手順
ディスプレイにタッチしても反応しません。	• ディスプレイを起動または電源を入れた直後はタッチ機能が利用できません。数秒待てばディスプレーがタッチに反応するようになります。 • 接続されているコンピューターに、最低限必要なバージョンのSMART製品ドライバー(またはそれ以降)がインストールされ、実行されていることを確認します(53ページを参照)。 • ディスプレイとコンピュータの間のUSBケーブルがサポートされている最大ケーブル長を超えていない事を確認してください。 • 接続されたコンピューターが「USBハブが多すぎます」または「起動できません(コード10)」と報告する場合は、ナレッジベースの記事SMART Board インタラクティブディスプレイとUSB層構造の使用を参照してください。 • 接続されているコンピュータが、ディスプレイのUSB接続を検出していることを確認してください。 • Windowsコンピューターでは、デバイスマネージャーを開き、ディスプレイのアイコン上に赤または黄色の感嘆符(!)が表示されていないことを確認してください。 • Macのコンピュータでは、システム情報を開き、ディスプレイの行にエラーメッセージが表示されていない事を確認してください。 • macOS Mojaveを搭載したMacコンピュータの場合は、ナレッジベースの記事「macOS MojaveでのSMARTラーニングスイートソフトウェアのインストールと使用に関する問題を解決する方法」を参照してください。
このディスプレイは断続的なタッチに応答します。 または 画面をタッチするとポインターが正しい場所に表示されません。	• インクを消去するときは、ジュエリーや衣類が画面に触れないようにしてください。 • 消すときは、手のひらや拳が画面上で平らになるようにしてください。 • ディスプレイを起動または電源を入れた直後はタッチ機能が利用できません。数秒待てばディスプレーがタッチに反応するようになります。 • ディスプレイを再起動します。 • コンピューターが1本のケーブルのみでディスプレイに接続されていることを設置者と一緒に確認します。 • 接続されたすべてのコンピュータにSMART Product DriversとInkがインストールされ、実行されていることを確認し、ディスプレイを向き合わせてください。 • 白熱灯やアーク灯等の赤外線発信源、デスクランプ、赤外線オーディオデバイスを取り除くか、ディスプレイを部屋の別な場所に移動させてください。 • USBケーブルを分離するためにUSBエクステンダーを取り外してください。

ペンと消しゴムが正常に動作していません

兆候について	トラブルシューティングの手順
ディスプレイはタッチまたはペンのライティングには反応しません。	• 接続されているコンピューターに、最低限必要なバージョンのSMART製品ドライバー(またはそれ以降)がインストールされ、実行されていることを確認します(53ページを参照)。 • ディスプレイを起動または電源を入れた直後はタッチ機能が利用できません。数秒待てばディスプレーがタッチに反応するようになります。 • 接続されているコンピュータが、ディスプレイのUSB接続を検出していることを確認してください。 • Windowsコンピューターでは、デバイスマネージャーを開き、ディスプレイのアイコン上に赤または黄色の感嘆符(!)が表示されていないことを確認してください。 • Macのコンピュータでは、システム情報を開き、ディスプレイの行にエラーメッセージが表示されていない事を確認してください。 • 接続された全てのコンピューターでSMART Product DriversおよびInkを再インストールまたは更新してください。

兆候について	トラブルシューティングの手順
ディスプレイはタッチに反応するが、ペンで書いても反応がありません。	• 接続された全てのコンピューターでSMART Product DriversおよびInkを再インストールまたは更新してください。
画面上に書き込む際にインクが間違った場所に表示されます。 または 書き込みが断続的に行われます。 または インクが書くと消えます。	• SMART Board MX または MX Proシリーズのインタラクティブディスプレイのペンを使用していることを確認してください。 *SMART 製品ペンの比較* (smarttech.com/kb/171230) を参照してください。 • ディスプレイを再起動します。 • コンピューターが1本のケーブルのみでディスプレイに接続されていることを設置者と一緒に確認します。 • 画面をきれいにする。 • もし接続されたコンピュータからの入力でインクが誤った場所に表示される場合は、ディスプレイを方向転換してください。 • SMART Product DriversとInkがインストールされ、接続されたコンピューターで実行されていることを確認します。 • ペン先が摩耗していないことを確認してください。交換用ペンは、SMARTの部品ストアから入手できます(smarttech.com/Support/PartsStoreを参照)。 • 接続されたすべてのコンピュータにSMART Product Drivers と Inkがインストールされ、実行されていることを確認し、ディスプレイを向き合わせてください。 • 白熱灯やアーク灯等の赤外線発信源、デスクランプ、赤外線オーディオデバイスを取り除くか、ディスプレイを部屋の別な場所に移動させてください。
MicrosoftOfficeでは、書き込みや描画を行うことはできません。	• Microsoft Office 2013以降がインストールされていることを確認してください。 • SMART Product DriversおよびSMART Inkを、再インストールまたは更新してください。

NFC サインインが期待どおりに機能しない

V4 V4 Pro

兆候について	トラブルシューティングの手順
SMART IDカードを使用してSMARTアカウントにサインインできません。	• 設定でNFCが有効になっていることを確認してください。 • SMART アカウントで使用する SMART ID カードを設定します。 24 ページ*SMART IDカードの設定*を参照してください。
接続されたコンピューターでディスプレイの NFC サインイン機能を使用できない。	• SMART ID カードを使用して、接続されたコンピューターにサインインすることはできません。iQ で SMART アカウントにサインインするためにのみ使用できます。 • ディスプレイの NFC サインイン機能がデバイスマネージャー (Windows オペレーティングシステム) または Apple システムプロファイラー (macOS オペレーティングシステムソフトウェア) に表示されていることを確認します。 **注記** ディスプレイの NFC サインイン機能は標準の CCID スマートカードリーダーであり、CCID をサポートするスマートカードとソフトウェアで使用できます。SMART は、そのような製品を販売しておらず、それらのサポートも提供していません。

iQアプリが正常に動作していません

兆候について	トラブルシューティングの手順
iQアプリが正常に動作していません。	iQ のトラブルシューティングを参照してください。

接続されたコンピュータのSMARTソフトウェアが正常に動作していません

兆候について	トラブルシューティングの手順
SMART Notebookのソフトウェアが正常に動作していません。	SMART Notebookのトラブルシューティングを参照してください。
Lumio by SMARTが正常に動作していない。	Lumio by SMARTの一般的な問題のトラブルシューティングをご覧ください。
SMART TeamWorksのソフトウェアが正常に動作していません。	SMART TeamWorksのトラブルシューティングを参照してください。
SMART Meeting Proソフトウェアが正常に機能しません。	SMART Meeting Pro の基本的なトラブルシューティングを参照してください。
SMART Inkが正常に動作していません。	SMART Inkのトラブルシューティングを参照してください。
SMART Product Driversが正常に機能していません。	SMART 製品ドライバのトラブルシューティングを参照してください。

SMART OPS PCモジュールが思い通りに作動しない

兆候について	トラブルシューティングの手順
SMART OPS PCモジュールが思い通りに作動しません。	*SMART OPS PCモジュールのユーザーガイド* (smarttech.com/kb/171747) を参照してください。

Intel Compute Cardが正常に動作していない

兆候について	トラブルシューティングの手順
Intel Compute Cardが正常に動作していない	iQ機器 (AM50) および Intel Compute Card のトラブルシューティングを参照してください。

最低限必要な SMART 製品ドライバーのバージョン

この表は、各モデルの SMART Product Drivers の最小バージョンを示しています。

モデル	最小バージョン
V4 V4 Pro	12.20
V3 V3 Pro	12.18
V2-C V2-C Pro V2 V2 Pro	12.14

SMART Product Drivers と Ink は次の場所からダウンロードできます、smarttech.com/downloads。

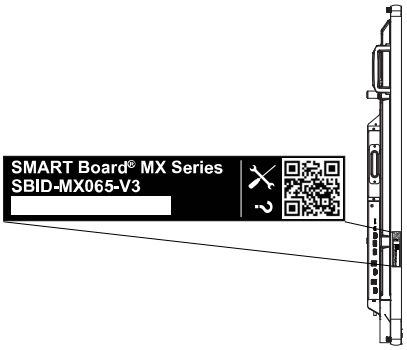
その他のサポート、販売店へのお問い合わせ

ディスプレイの問題を解決できないか、本章やナリッジベースにも解決策が掲載されていない場合は、SMART正規販売代理店 (smarttech.com/where) でサポートを受けてください。

販売店がディスプレイのシリアル番号をお伺いする場合がございます。

V4 V4 Pro V3 V3 Pro V2-C V2-C Pro V2 V2 Pro

このシリアル番号はディスプレイの左側にあるラベルに記載されています (写真)。



ヒント

このラベルのQRコードをスキャンして、SMARTウェブサイトのSMART Board MXまたはMX Proシリーズのインタラクティブディスプレイのサポートページをご覧ください。

MX

シリアル番号は、ディスプレイの下部フレームと背面にあるラベルに記載されています。

注記

iQ機器とIntel Compute Cardのシリアル番号を調べるには、iQ機器とIntel Compute Cardのサポートおよびシリアル番号を調べるを参照してください。

シリアル番号はiQ設定で確認することもできます。詳細については、*SMART Board MX および MX Proシリーズインタラクティブディスプレイの設置およびメンテナンスガイド* (smarttech.com/kb/171555) を参照してください。

証明書およびコンプライアンス

米連邦通信委員会の干渉に関する声明

FCC
サプライヤーの適合宣言書
47 CFR § 2.1077 コンプライアンス情報
ユニーク識別子：IDX55-2、IDX55-3、IDX55-4、IDX65-1、IDX65-2、IDX65-3、IDX65-4、IDX75-1、IDX75-2、IDX75-3、IDX75-4、IDX86-1、IDX86-2、IDX86-3、IDX86-4
責任者–米国連絡先
SMART Technologies Inc.
2401 4th Ave., 3rd Floor
Seattle, WA 98121
compliance@smarttech.com。

本デバイスは、FCC規則第15章に準拠しています。操作は、次の2つの条件が適用されます。

1. 本デバイスが有害な干渉を引き起こさない場合があり、そして
2. 本デバイスは望ましくない操作を引き起こす干渉を含め、受信した何らかの干渉を受け入れる必要があります。

注記

この機器は、検査を行い、FCC規則第15章で定められたA分類のデジタル機器の規制に準拠することが確かめられています。これらの規制は、製品を商用環境で使用する場合の有害な混信に対し妥当な保護機能を提供することを目的としています。本装置は、無線周波数を生成・使用・発信するもので、指定の方法に従わずに設置・使用すると、無線通信に関し有害な混信を引き起こす場合があります。本装置を住宅地で使用する場合、有害な混信を引き起こすことがあります。そのような場合、混信を防止するため、ユーザー様のご負担による改修等の対策が必要になります。

⚠ 注意事項

コンプライアンス担当責任者による明確な承認のあらゆる変更または修正が本装置を操作するユーザーの権限を無効にする可能性があります。

制限

5.15-5.25GHz 帯域での使用は屋内使用のみに制限されています。

米国における本製品のIEEE 802.11bまたは802.11gでの使用は、チャネル1～11に制限されたファームウェアです。

⚠ 注意事項

i. 5150 ~ 5250MHzの帯域用のデバイスは、同一チャネルを共有する衛生システムへの有害な干渉を低減するため、屋内使用限定とします。
ii. 5250-5350MHzおよび5470-5725MHzの帯域で、デバイス用に許可された最大アンテナ利得はe.i.r.p.制限に準拠するものとし、そして
iii. 5725-5825MHzの帯域で、デバイス用に許可された最大アンテナ利得は必要に応じてポイントツーポイントとポイントツーポイント以外の操作に指定されるe.i.r.p.制限に準拠するものとします。
iv. ユーザーは、高出力レーダーが、5250-5350MHzおよび5650-5850MHz帯域のプライマリユーザーとして(つまり、優先ユーザー)割り当てられること、さらにこれらのレーダーがLE-LANデバイスへの干渉および/または損傷を引き起こす可能性がある事も勧告されるものとします。

放射線被爆ステートメント

本装置は、ISEDの被曝制限の制御されていない環境に対して規定に準拠しています。本装置は本デバイスのアンテナとすべての近くの人との間に20cmの最小距離を設けたり、管理する必要があります。本送信機は他のアンテナまたは送信機とつないで共存または操作されないようにする必要があります。

イノベーション、科学・経済開発省のカナダにおける声明

本デバイスは、イノベーション、科学および経済開発のカナダの規則RSS-247に準拠しています。操作には、次の2つの条件が適用されます。

1. 本デバイスが有害な干渉を引き起こさない場合があり、そして
2. 本デバイスは望ましくない操作を引き起こす干渉を含め、受信した何らかの干渉を受け入れる必要があります。

放射線被爆ステートメント

本装置は、ISEDの被曝制限の制御されていない環境に対して規定に準拠しています。本装置は本デバイスのアンテナとすべての近くの人との間に20cmの最小距離を設けたり、管理する必要があります。本送信機は他のアンテナまたは送信機とつないで共存または操作されないようにする必要があります。

EU適合宣言

これにより、スマートテクノロジーズULCは、無線機器タイプのインタラクティブディスプレイモデルIDX55-2、IDX55-3、IDX55-4、IDX65-1、IDX65-2、IDX65-3、IDX65-4、IDX75-1, IDX75-2、IDX75-3、IDX75-4、IDX86-1、IDX86-2、IDX86-3、IDX86-4、およびOPS AM40、AM50、PCM8、PCM11が指令2014/53 / EUに準拠していることを宣言します。

⚠ 警告

住宅環境でこの機器を動作させると電波干渉を引き起こす可能性があります。

EU適合宣言の完全なテキストは次のインターネットアドレスでご利用可能です：smarttech.com/compliance

EUの周波数帯域と最大送信電力は次のとおりです。

送信帯域(MHz)	最大送信電力
IDX55-2, IDX55-3, IDX65-1, IDX65-2, IDX65-3, IDX75-1, IDX75-2, IDX75-3, IDX86-1, IDX86-2, IDX86-3	
2402-2483.5	19dBm (EIRP)
5150-5350	23dBm (EIRP)
5470-5350	23dBm (EIRP)
IDX55-4, IDX65-4, IDX65-4, IDX86-4	
13.56	0.0007µW (ERP)
2402-2483.5	20dBm (EIRP)
5150-5350	22dBm (EIRP)
5470-5725	20dBm (EIRP)
5725-5875	14dBM (EIRP)

制限事項:

AT/BE/BG/CZ/DK/EE/FR/DE/IS/IE/IT/EL/ES/CY/LV/LI/LT/LU/HU/MTNL/NO/PL/PT/RO/SI/SK/TR/FI/SE/CH/UK/HR—5150MHz-5350MHZ は室内利用限定です。

> ⚠ **注意事項: 無線周波数の被爆**
> 本装置は、EUの被曝制限の制御されていない環境に対して規定に準拠しています。本装置は人体と放射体の間に20cmの最小距離を設けたり、管理する必要があります。

SMART Technologies

smarttech.com/support

smarttech.com/contactsupport

smarttech.com/ja/kb/171554